

交通環境学習実施状況調査（アンケート調査）

交通エコモ財団では、平成 28 年度より自治体における交通担当部署を対象としたアンケート調査を実施し、各地における交通環境学習の実態調査を実施している。また、平成 30 年度からは教育委員会向けにもアンケート調査を実施している。

今年度も同様に自治体及び教育委員会向けのアンケート調査を実施するとともに、学校向けにもアンケート調査を実施した。

I 学校向けアンケート調査

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

交通環境学習の実施実績のある小中学校を対象に、交通環境学習の実施状況を把握するとともに、交通環境学習に関する意見交換会の開催に向けた意向等の把握を目的として実施する。

1.2 調査の設計

■調査対象及び調査票本数

調査対象は、過去のアンケート調査結果をもとに、過去 5 年間に交通環境学習の実施実績がある自治体または過去にエコモ財団による支援実績がある自治体の学校とする。（自治体名は P.2 に記載）

調査票本数は、小学校 1,671 校、中学校 296 校の計 1,967 校である。

表 調査標本数

調査対象	自治体数	調査票本数	
		小学校	中学校
① 過去 5 年間に交通環境学習の実施実績がある自治体の小中学校	18 自治体	550 校	276 校
② 過去に支援実績のある自治体の小学校	35 自治体	1,075 校	
③ ①かつ②である自治体の小中学校	2 自治体	46 校	20 校
合計	55 自治体	1,671 校	296 校

■調査方法

配布：郵送配布

回収：選択方式（インターネット、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

■調査時期

令和 6 年 8 月 19 日（月）～令和 6 年 9 月 20 日（金）

1.3 調査票の配布・回収の状況

■配布件数 1,967 校 [小学校 1,671、中学校 296]

■有効回収件数（率） 282 校（14.3%）[小学校 235（14.1%）、中学校 47（15.9%）]

表 配布件数・有効回収件数

調査対象	調査標本数		有効回収数		有効回収率	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
①	550	276	67	43	12.2%	15.6%
②	1,075		160		14.9%	
③	46	20	8	4	17.4%	20.0%
合計	1,671	296	235	47	14.1%	15.9%

（参考）調査対象自治体

地方	自治体
北海道	②札幌市 ③帯広市
東北	②八戸市、仙台市
関東	①龍ヶ崎市、小山市、袖ヶ浦市 ②藤沢市
北陸	①高岡市 ②富山市、金沢市
中部	①長野市、飯田市、岐阜市、掛川市、御殿場市、岡崎市、瀬戸市、豊川市
近畿	①小野市 ②大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、和泉市 ③甲賀市
中国	①福山市、岩国市
四国	①徳島市、松山市
九州・沖縄	①鹿屋市 ②浦添市

1.4 調査項目

アンケート調査項目は、交通環境学習の実施状況と実施に関する課題、授業の題材に関する情報収集先の具体例、交通環境学習に関する意見交換会の参加意向、交通環境学習にかかわる教育支援制度の認知度及び活用意向についての4項目、全9問とした。

表 調査項目

項目	設問	
交通環境学習の実施状況	問1	令和元年度以降の「交通環境学習」実施状況
	副問1.1	（実施したことはない）「交通環境学習」の実施意向
	副問1.2	（実施したいができなかった）実施できなかった理由
	問2	こういった情報や協力があると取り組みやすいか
	問3	近隣で「交通環境学習」を実施している学校

授業の題材等の 情報収集	問4	授業の実施方法や題材に関する情報収集方法
意見交換会に ついて	問5	「交通環境学習」に関する意見交換会の内容
	問6	「交通環境学習」に関する意見交換会の開催方法
	問7	「交通環境学習」に関する意見交換会の時間帯
教員支援制度に ついて	問8	支援制度の認知
	問9	支援制度の活用意向

2. 調査結果

(1)「交通環境学習」の実施状況

1)「交通環境学習」の実施状況について

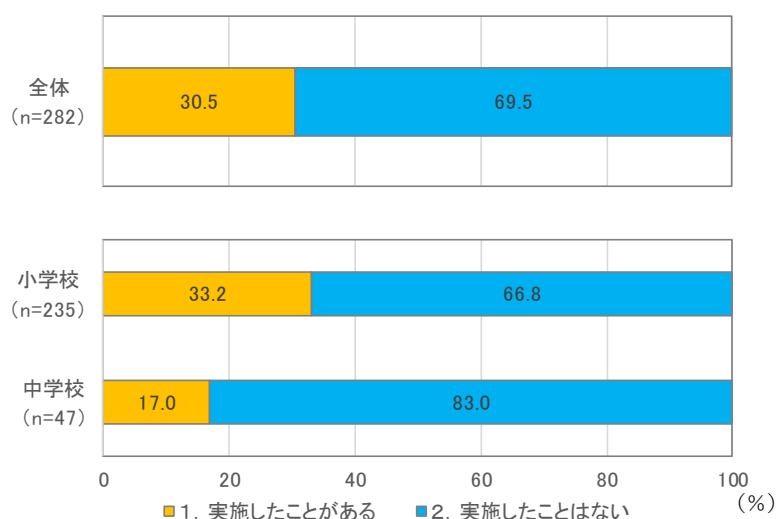
①「交通環境学習」の実施実績

問1 貴校では令和元年度以降に「交通環境学習」を実施したことがありますか？（1つに○）

○交通環境学習の実施状況は、「実施したことがある」が30.5%、「実施したことはない」が69.5%となっている。

○小/中学校の別にみると、「実施したことがある」と回答した小学校が33.2%。中学校が17.0%となっている。

○「実施したことがある」と回答した学校について、年度ごとの実施学校数をみると、令和5年度が最も多くなっている。



図「交通環境学習」の実施状況

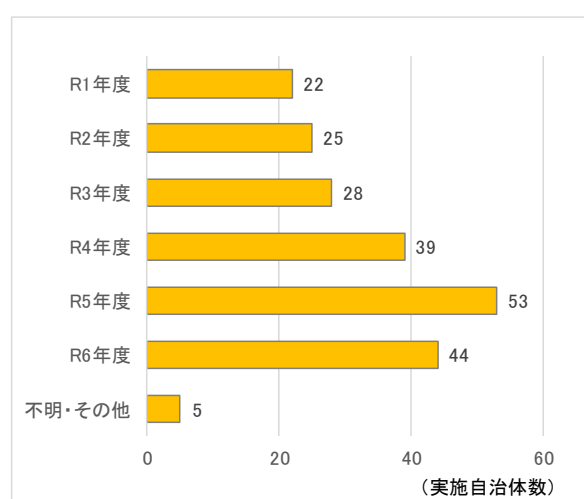
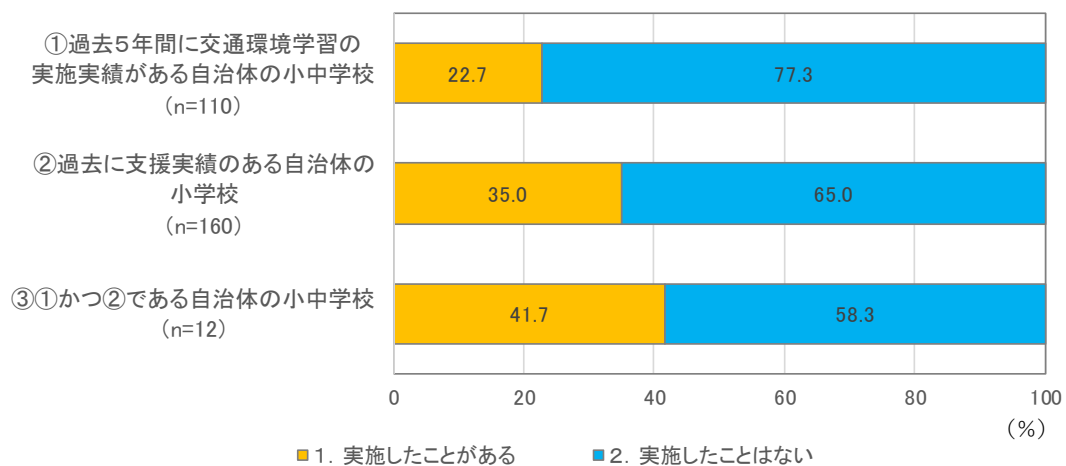


図 年度ごとの実施学校数

	回答数（件）			構成比（%）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
実施したことがある	78	8	86	33.2	17.0	30.5
実施したことはない	157	39	196	66.8	83.0	69.5
合計	235	47	282	100.0	100.0	100.0

(参考) 調査対象別の実施状況

○調査対象別に実施状況をみると、「③過去5年間に実施実績があり、過去に支援実績がある自治体の小中学校」が41.7%、「②過去に支援実績がある自治体の小学校」が35.0%、「①過去5年間に実施実績がある自治体の小中学校」が22.7%となっている。



	回答数 (件)			構成比 (%)		
	①	②	③	①	②	③
実施したことがある	25	56	5	22.7	35.0	41.7
実施したことはない	85	104	7	77.3	65.0	58.3
合計	110	160	12	100.0	100.0	100.0

②「交通環境学習」の実施意向

（問１で「2. 実施したことはない」とお答えの方にお伺いします。）

副問 1.1 「交通環境学習」の実施意向についてお伺いします。（１つに○）

○問１で「実施したことはない」と回答した学校について、交通環境学習の実施意向は「わからない、検討したことがない」が81.6%、「実施したいが、できなかった」が16.3%となっている。

○小/中学校の別にみると、「実施したいが、できなかった」と回答した小学校が17.8%。中学校が10.3%となっている。

○「交通環境学習は実施したくない」の理由としては、「学習指導要領の中に位置付けられていない」「授業時間数確保のため」「必要性を感じない」といった回答があった。

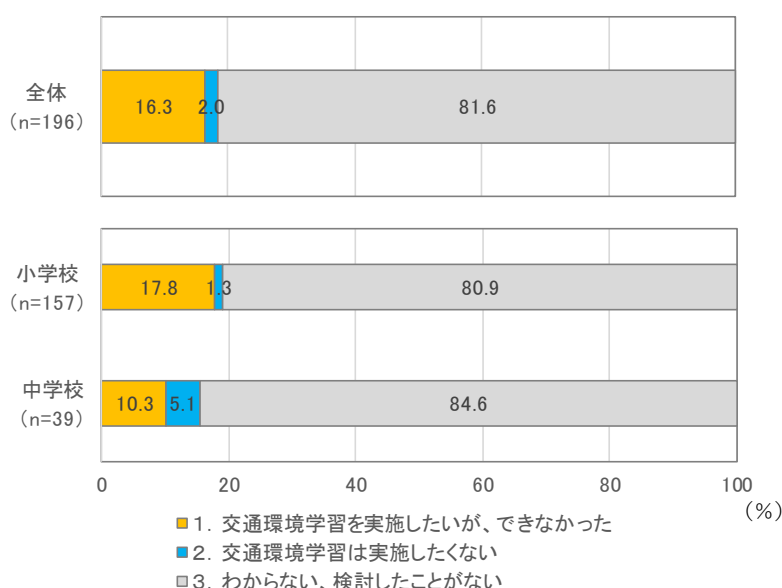


図 「交通環境学習」の実施意向

	回答数（件）			構成比（％）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
交通環境学習を実施したいが、できなかった	28	4	32	17.8	10.3	16.3
交通環境学習は実施したくない	2	2	4	1.3	5.1	2.0
わからない、検討したことがない	127	33	160	80.9	84.6	81.6
合計（回答対象件数）	157	39	196	100.0	100.0	100.0

■「交通環境学習は実施したくない」主な理由

分類項目	件数（件）
・学習指導要領に位置付けられていないため	2
・授業時間数確保、行事がすでに多いため	1
・必要性を感じていないため	1

③「交通環境学習」を実施できなかった理由

(副問 1.1 で「1. 交通環境学習を実施したいが、できなかった」とお答えの方にお伺いします。)

副問 1.2 「交通環境学習」を実施できなかった理由は何ですか？(いくつでも)

○問 1 で「実施したいが、できなかった」と回答した学校について、交通環境学習を実施できなかった理由は、「授業時間の余裕がなかった」が 78.1%、「授業の組み立て方がわからない」が 34.4%となっている。

○「その他」の理由として、「1 学年の人数が多く、受け入れ先が見つからなかった」といった回答があった。

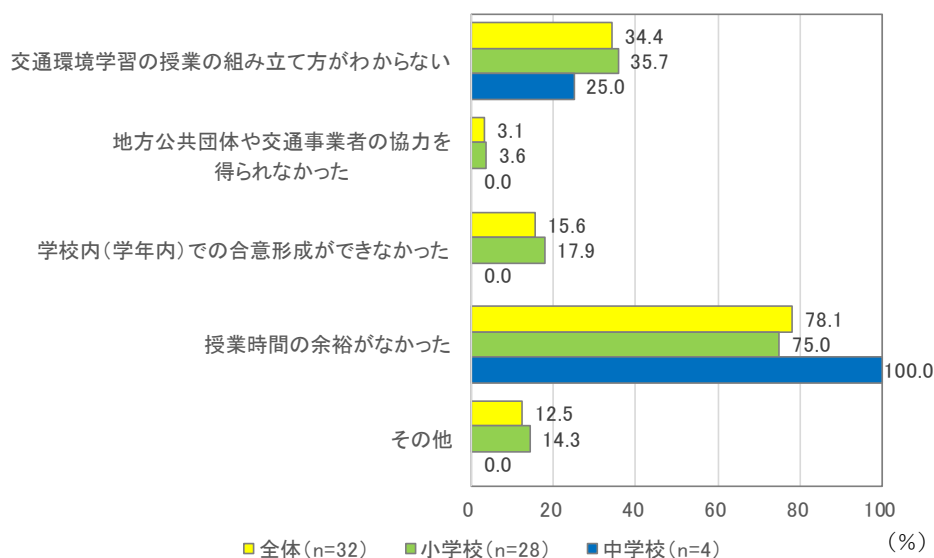


図 「交通環境学習」を実施できなかった理由

	回答数 (件)			構成比 (%)		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
交通環境学習の授業の組み立て方がわからない	10	1	11	35.7	25.0	34.4
地方公共団体や交通事業者の協力を得られなかった	1	0	1	3.6	0.0	3.1
学校内(学年内)での合意形成ができなかった	5	0	5	17.9	0.0	15.6
授業時間の余裕がなかった	21	4	25	75.0	100.0	78.1
その他	4	0	4	14.3	0.0	12.5
合計 (回答対象件数)	28	4	32	100.0	100.0	100.0

■「その他」主な内容

- ・ 交通環境学習を知らなかった。
- ・ 1 学年の人数が多く、受け入れ先が見つからなかった。
- ・ 公共のバス・鉄道などの路線がない。

2) 交通環境学習実施にあたって必要な情報

問2 「交通環境学習」に関して、どういった情報や協力があれば取り組みやすくなると思いますか？

- 「交通環境学習」に必要な情報や協力としては、「具体的な実践内容、事例の紹介」、「資料や教材、データ等の提供」が多くなっている。
- また、「教科や教科書、学習指導要領との関連性」を具体的に示すことで交通環境学習に取り組みやすくなるという意見も多くなっている。
- 公共交通にアクセスしづらい地域においては、「出前授業、体験学習等の提供」について要望があった。
- 「交通環境学習」を実施するにあたっての事業者との具体的な調整内容、手続き方法等についての情報提供、費用の補助に関する意見も多く挙げられている。

表 必要な情報や協力

分類項目	件数 (件)
具体的な実践内容、事例の紹介	72
資料や教材、データ等の提供	51
教科や教科書、学習指導要領との関連性	49
出前授業、体験学習等の提供	29
学習内容や効果	19
事業者との調整や手続き等の情報提供	15
費用の補助	13
講師やゲストティーチャーの派遣	13
交通環境学習の周知	13
自治体や交通事業者等との連携	12
その他	32
有効回答件数 ※ひとつの回答に複数の意見が含まれるため件数の合計とは異なる	282

3) 近隣の学校での実施状況について

問3 近隣で「交通環境学習」を実施している学校があるかご存じですか？（1つに○）

○近隣の学校での実施状況については、「知らない、わからない」が86.9%となっている。

○小/中の別にみると、小学校では15.7%が近隣の学校で実施されていることを把握しているものの、中学校では「知らない、わからない」が100%となっている。

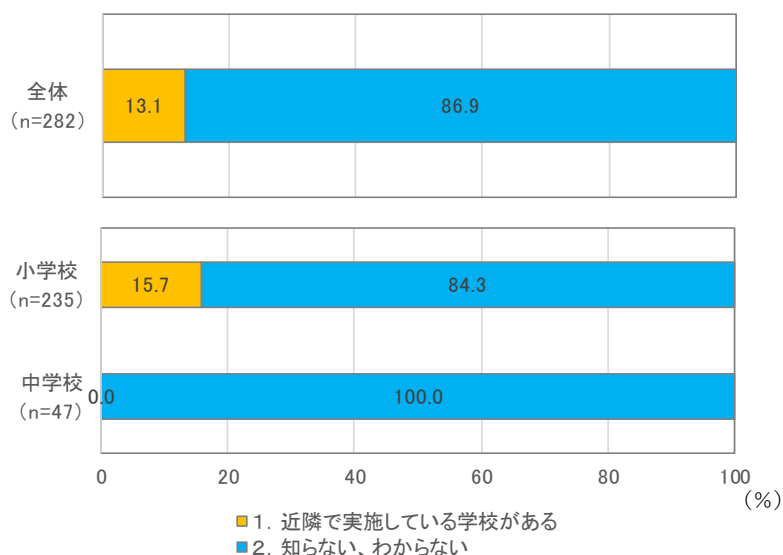


図 近隣の学校での実施状況

	回答数（件）			構成比（％）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
近隣で実施している学校がある	37	0	37	15.7	0.0	13.1
知らない、わからない	198	47	245	84.3	100.0	86.9
合計（回答対象件数）	235	47	282	100.0	100.0	100.0

(2) 授業の題材等に関する情報収集

問4 授業の実施方法や題材に関して、普段どのように情報収集を行っていますか？情報提供元や参考にしているサイト等があれば教えてください。 ※交通環境学習の授業に限りません。

○授業の題材等に関する情報収集方法としては、「ウェブサイト」が最も多くなっている。具体的に挙げられたサイトは下記のとおりである。

○次いで、「学校内での情報共有、過去事例の引継ぎ」「自治体からの案内」「書籍、新聞」「教材パンフレット、企業等からのチラシ」が多くなっている。

表 授業の題材等に関する情報収集方法

分類項目	件数 (件)
ウェブサイト	164
学校内での研究や情報共有、過去事例の引継ぎ、	24
自治体からの案内、自治体の取り組み	19
書籍、新聞	18
教材パンフレット、企業等からのチラシ・案内	18
教科書、資料集	14
研修、講演会、セミナー	13
他校との情報交換	8
テレビ	2
その他	7
有効回答件数	241

※ひとつの回答に複数の意見が含まれるため件数の合計とは異なる

■具体的なウェブサイト

- ・ NHKfor school
- ・ みんなの教育技術
- ・ TOSS ランド
- ・ ヤフーキッズ
- ・ sensei ポータル
- ・ nextchannel (文部科学省 YouTube)
- ・ 図工人
- ・ あしたね
- ・ スキルマドリル
- ・ Facebook のグループ (ミライシード研究会、自由進度学習研究会など)
- ・ 関係団体、役所、省庁、企業の HP
- ・ 地元新聞社のホームページ
- ・ 教科書会社、ドリル・テスト発行会社のサイト
- ・ 教育課程編成の手引きにのっているサイト
- ・ 県や市の教育関係サイト (GIGA サポ仙台 (市教育委員会サイト)、におねっと (滋賀県学習情報提供システム))
- ・ 各学校の研究のページ

(3)「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する意見交換会

1) 意見交換会の内容について

問5 エコモ財団では、先生方を対象とした「交通環境学習」に関する意見交換会の開催を検討しています。どのような内容に興味がありますか？（いくつでも）

○意見交換会の内容については、「自治体や学校職員による実践事例の講演」が52.1%と最も多く、次いで「実践校の授業見学」が34.8%となっている。

○小/中学校の別にみると、中学校では「専門家による「交通環境学習」に関する講演」が29.8%と多くなっている。

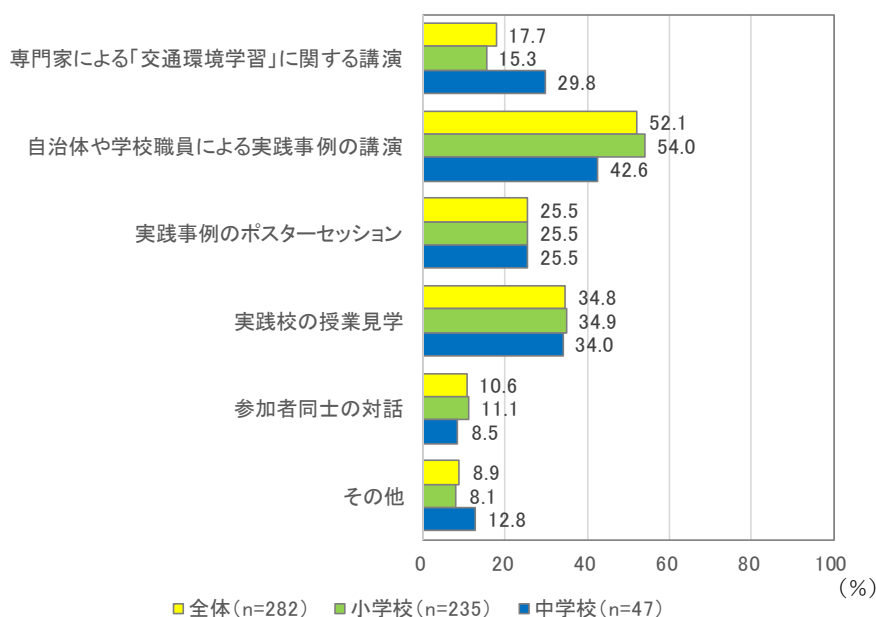


図 意見交換会の内容

	回答数（件）			構成比（％）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
専門家による「交通環境学習」に関する講演	36	14	50	15.3	29.8	17.7
自治体や学校職員による実践事例の講演	127	20	147	54.0	42.6	52.1
実践事例のポスターセッション	60	12	72	25.5	25.5	25.5
実践校の授業見学	82	16	98	34.9	34.0	34.8
参加者同士の対話	26	4	30	11.1	8.5	10.6
その他	19	6	25	8.1	12.8	8.9
合計（回答対象件数）	235	47	282	100.0	100.0	100.0

■講演の内容として希望すること

分類項目	件数（件）
具体的な内容	19
交通環境学習の進め方やポイント	8
交通環境学習とは何か、基礎的な内容	7
SDGs との関連	4
交通環境学習で得られる効果	4
その他	2

<具体的な内容>

- ・ 未来の交通環境、未来の自動車・電車
- ・ 自動運転について
- ・ マナーのようなことや渋滞緩和などの交通に関わる社会問題についてなど
- ・ バスや鉄道の乗り方教室
- ・ 交通安全や交通マナー向上につながる内容
- ・ 交通事故防止
- ・ 化石燃料の使用を減らすことによる環境への影響について。
- ・ 交通が原因で、どのような環境汚染が広がっているのか。
- ・ 公共交通と温室効果ガスの関係
- ・ 地球温暖化現象と交通環境
- ・ 環境に配慮した取り組みについて
- ・ 日常生活と環境、交通問題の関係について
- ・ フードマイレージ・地球環境問題など
- ・ 公共交通機関の値上がり、それに見合う形での環境問題へのフィードバック。（生活と環境問題）
- ・ 交通環境の現状と今後について
- ・ 地域の交通やその現状や課題について
- ・ 課題と解決策、これからの交通環境について
- ・ 防災と関わらせて

■「その他」主な内容

- ・ 「4. 実践校の授業見学」に関するオンデマンド配信等あれば、時間的・空間的制約に関係なく実践事例を確認できると考えます。
- ・ 子供たちにわかりやすく動画や画像を使って説明をしていただいたり、実際に体験して学べるものが良い。
- ・ 交通環境の現状と今後について
- ・ 授業体験
- ・ 学習に活用できる資料の提案や、データベース化がありがたいです。
- ・ 忙しいので、オンデマンドで短い時間であれば少し助かります。

2) 意見交換会の実施方法について

問6 意見交換会を開催する場合、第1回目は東京での開催を検討しております。意見交換会に参加する場合は、オンラインまたは現地のどちらで参加したいですか？（1つに○）

○意見交換会の実施方法については、「オンライン」が81.2%と最も多くなっている。

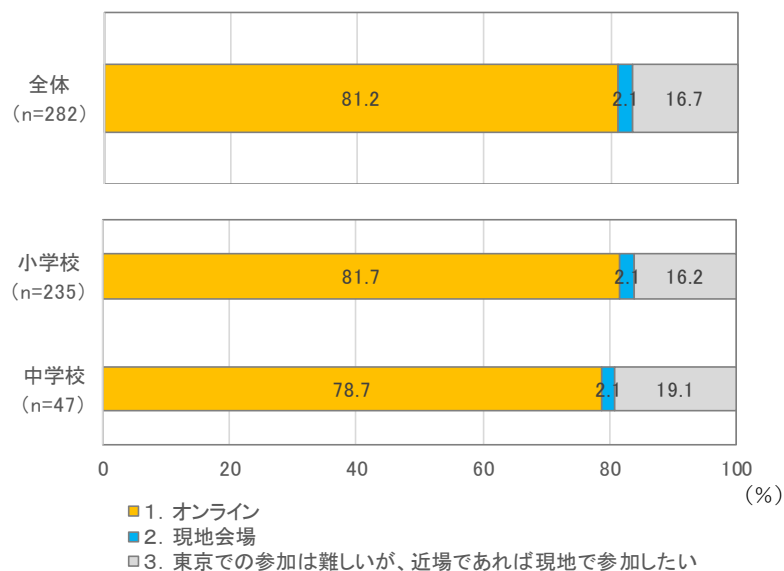


図 意見交換会の実施方法について

	回答数（件）			構成比（%）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
オンライン	192	37	229	81.7	78.7	81.2
現地会場	5	1	6	2.1	2.1	2.1
東京での参加は難しいが、近場であれば現地で参加したい	38	9	47	16.2	19.1	16.7
合計（回答対象件数）	235	47	282	100	100	100

3) 意見交換会の実施時期や時間帯について

問7 意見交換会に参加しやすい時期や時間帯はありますか？（1つに○）

○意見交換会の時期や時間帯については、「長期休暇（夏休み・冬休み）」が85.8%と最も多くなっている。

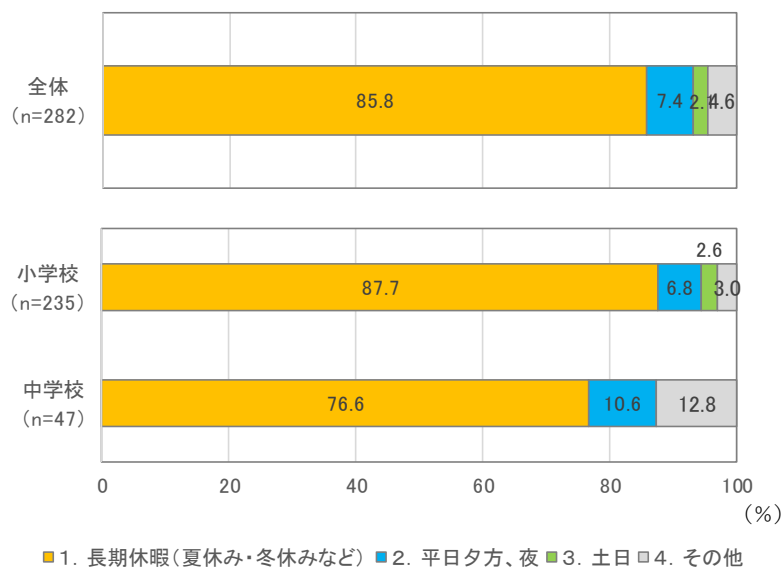


図 意見交換会の時期や時間帯について

	回答数（件）			構成比（％）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
長期休暇（夏休み・冬休み）	206	36	242	87.7	76.6	85.8
平日夕方、夜	16	5	21	6.8	10.6	7.4
土日	6	0	6	2.6	0.0	2.1
その他	7	6	13	3.0	12.8	4.6
合計（回答対象件数）	235	47	282	100.0	100.0	100.0

■「その他」主な内容

- ・「1. 長期休暇」が現実的ですが、平日昼間の開催の方が出張として勤務時間内に参加できる方がありがたい。
- ・勤務時間内での調整なら、校内で理解を得ることができるように思いますが、それ以外でだと難しいと感じます。
- ・平日 9～16 時
- ・平日の放課後の時間
- ・アーカイブだとなおよし。
- ・日々多忙なため、難しい。

(4) 交通環境学習にかかわる教員支援制度

1) 教員支援制度の認知度について

問8 エコモ財団では、「交通環境学習」を普及するため、鉄道やバスを題材とする学習に対して、1校あたり年間15万円の支援を行っています。この支援制度を知っていますか？

(1つに○)

○交通環境学習に関する支援制度の認知度については、「知らない」が96.8%となっている。

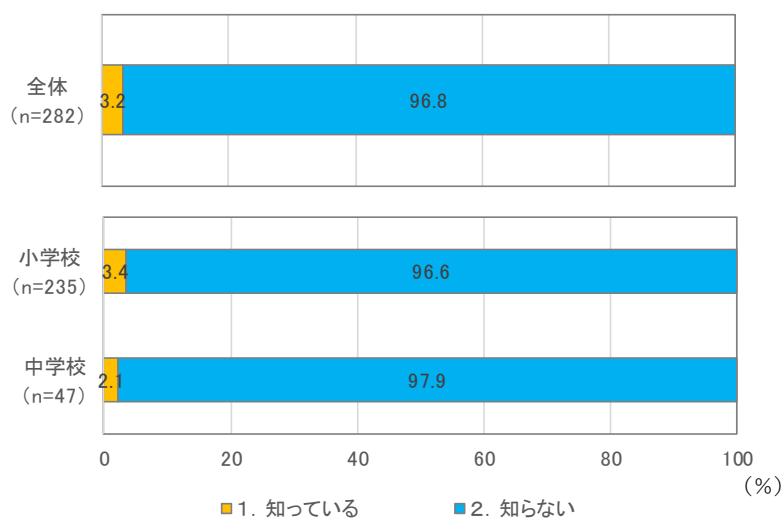


図 支援制度の認知度

	回答数 (件)			構成比 (%)		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
知っている	8	1	9	3.4	2.1	3.2
知らない	227	46	273	96.6	97.9	96.8
合計 (回答対象件数)	235	47	282	100	100	100

2) 教員支援制度の活用意向について

問9 エコモ財団の交通環境学習にかかわる支援制度を活用したいと思いますか？（1つに○）

○交通環境学習に関する支援制度の活用意向については「活用したい」が48.9%となっている。
○小/中学校の別にみると、小学校では「活用したい」が53.2%、中学校では27.7%となっている。

○活用したくない理由については、「交通環境学習の実施予定がない」が最も多いが、手続きや作業が煩雑になる点や、支援制度の活用が継続的な取組になりにくいことが懸念として挙げられている。

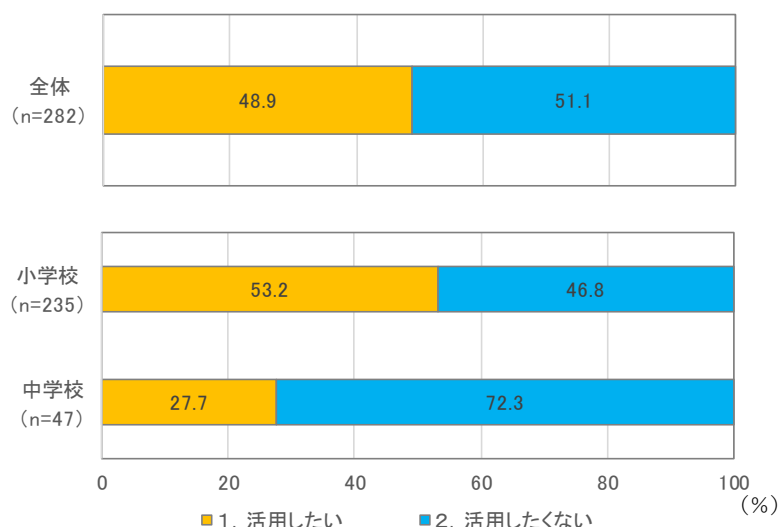


図 支援制度の活用意向

	回答数（件）			構成比（%）		
	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体
活用したい	125	13	138	53.2	27.7	48.9
活用したくない	110	34	144	46.8	72.3	51.1
合計（回答対象件数）	235	47	282	100.0	100.0	100.0

■活用したくない理由

分類項目	件数（件）
交通環境学習の実施予定がない	86
わからない、どちらともいえない、検討が必要	17
手続きが煩雑、報告書などの作業が増える	11
現状は支援なしで実施できている	7
制度についてよく知らない	6
継続的な取組にしたい（支援制度は継続的な取組にはなりにくい）	3
補助金は用途が限られ使いづらい	3
その他	3

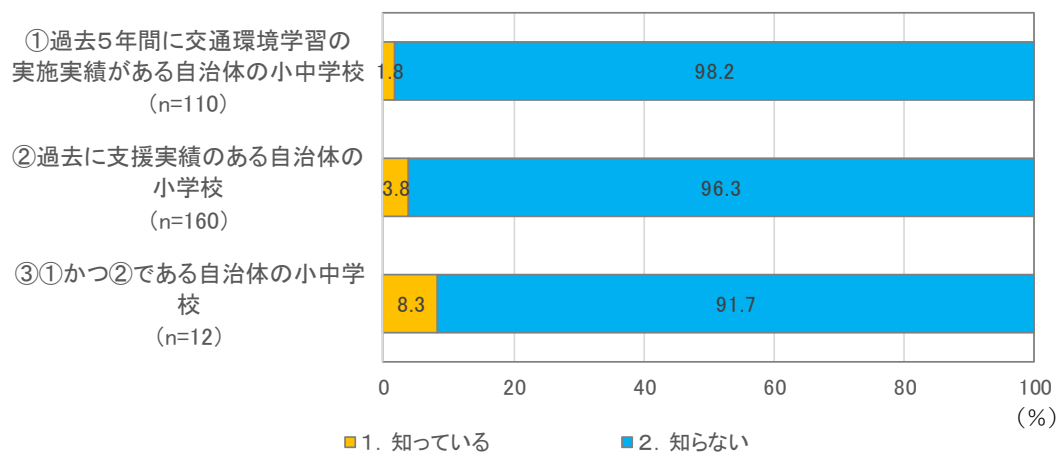
<その他の内容>

- ・〇〇教育や〇〇学習といった学習指導要領に明記されていないものは生徒や教員のためにも現場に持ち込んでほしいため。また、交通環境学習を広めたいならば「支援」という名目で現場の教師に依存するのではなく、「出張授業」をいう形で自分達が努力して広めることの方が筋というものだと思うから。
- ・活用したくないというより、児童数が少ないため、それだけの金額を使いきれないから。

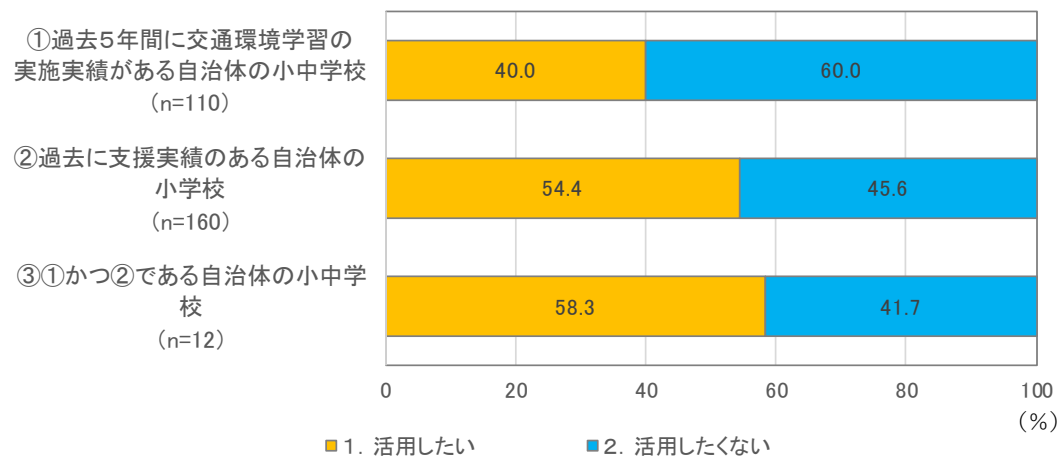
(参考) 調査対象別の教員支援制度の認知度、活用意向

○調査対象別に支援制度の認知度をみると、「支援制度を知っている」と回答した割合は「③過去5年間に実施実績があり、過去に支援実績がある自治体の小中学校」が8.3%、「②過去に支援実績がある自治体の小学校」が3.8%と、全体の割合よりやや高くなっている。

○活用意向についても同様で、過去に支援実績のある自治体の小中学校の方が「支援制度を活用したい」と回答した割合が全体よりも高くなっている。



問8 支援制度の認知度	回答数 (件)			構成比 (%)		
	①	②	③	①	②	③
知っている	2	6	1	1.8	3.8	8.3
知らない	108	154	11	98.2	96.3	91.7
合計	110	160	12	100.0	100.0	100.0



問9 支援制度の活用意向	回答数（件）			構成比（％）		
	①	②	③	①	②	③
活用したい	44	87	7	40.0	54.4	58.3
活用したくない	66	73	5	60.0	45.6	41.7
合計	110	160	12	100.0	100.0	100.0

3. アンケート調査結果のまとめと今後の課題

(1) アンケート調査結果のまとめ

■「交通環境学習」の実施状況について

- ・回答のあった282校のうち、令和元年以降に「交通環境学習」を実施したと回答した学校は30.5%であった。
- ・「交通環境学習」を実施したことがない196校の実施意向については、「わからない、検討したことがない」が81.6%であった。
- ・「交通環境学習」を実施したいが実施できなかった理由としては、授業時間の余裕がない、授業の組み立て方がわからない、が多く挙げられた。
- ・「交通環境学習」を実施するにあたり必要な情報や協力については、具体的な実践内容や事例を紹介してほしいという意見が最も多く、実施の検討をしたことがない学校が多いことから、「交通環境学習」の基礎的な内容についての要望が多く挙げられたと考えられる。
- ・また、授業時間の確保が課題となる中、教科や学習指導要領との関連性や効果をより具体的に示すことで「交通環境学習」が実施しやすくなるという意見も多く挙げられた。
- ・近隣の学校での実施状況については、近隣で実施している学校があると回答した学校が13.1%であった。

■授業の題材等に関する情報収集について

- ・授業の題材等に関する情報収集の方法は、国や自治体の公式ページ、教育系サイト等のウェブサイトを活用しているという回答が最も多く挙げられた。
- ・また、学校内での情報共有、書籍、自治体や企業等からの案内、研修など幅広い方法で情報収集を行っていることが明らかになった。

■「交通環境学習」に関する意見交換会について

- ・意見交換会の内容については、実践事例についての講演や実践校の授業見学など、「交通環境学習」に関する基礎的な内容と具体的な取組に関する要望が多かった。
- ・実施方法についてはオンラインの希望が81.2%となっており、オンデマンド配信など必要なときに見られる工夫を求める意見もあった。
- ・実施時期については長期休暇（夏休み・冬休み）が85.8%となっており、勤務時間内での実施が望まれている。

■「交通環境学習」にかかわる教員支援制度について

- ・教員支援制度の認知度については「知っている」が3.2%と低い値になっている。
- ・教員支援制度の活用意向については、「活用したい」が48.9%であった。
- ・支援制度を活用したくない理由としては、多くは「交通環境学習」の実施予定がないことであるが、手続きが煩雑で作業が増えること、支援を受けることで継続的な取組になりにくいことなども理由として挙げられている。

(2) 今後の課題

- ・「交通環境学習」を実施したことがない196校のうち8割が実施意向について「わからない、検討したことがない」と回答していること、具体的な実践内容や事例を紹介してほしいという意見が多いことから、引き続き「交通環境学習」の周知を進めていく必要がある。
- ・また、学習指導要領や授業との関連性、学習の意義や効果をより強調することにより、授業時間の確保が難しい中でも「交通環境学習」が実施しやすくなると考えられる。
- ・「交通環境学習」を実施するにあたり、協力してくれる事業者の情報、手続きの方法、調整内容など、学習の内容以外に関する情報をより具体的に提供することで実施について具体的なイメージが持ちやすくなると考えられる。
- ・意見交換会については、オンラインでアーカイブを残すなど、必要なときに視聴できるような工夫が望まれている。
- ・教員支援制度については、制度の周知を図るとともに、手続き等の事務作業の簡素化など、多忙な教員が活用しやすい制度となることが望まれている。

Ⅱ 自治体・教育委員会向けアンケート調査

1. 自治体向けアンケート

1.1 調査の概要

1.1.1 調査の目的

全国の自治体における交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

1.1.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 6 年 10 月 15 日（月）～令和 6 年 11 月 15 日（金）

1.1.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 337 件（39.1%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	259	76.9
FAX		27	8.0
メール		51	15.1
総計	862	337	100.0

＜参考＞過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査と同様

	令和 5 年度調査		令和 4 年度調査		令和 3 年度調査	
	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	222	75.8	317	78.7	347	78.2
FAX	32	10.9	45	11.2	44	9.9
メール	39	13.3	41	10.2	53	11.9
有効回収件数	293 件	100.0	403 件	100.0	444 件	100.0
	回収率 34.0%		回収率 46.8%		回収率 51.5%	

1.1.4 調査項目及び調査票の設計

(1) 調査対象

アンケート調査票は、昨年度までは、都道府県/市町村の別と前年度の取組みの有無によって4種類の調査票を配布していたが、今年度は選択肢を工夫し1種類のみとした。

(2) 調査項目

アンケート調査項目は、昨年度の交通環境学習の実施状況、今年度の実施予定及び実施にあたっての課題や必要な支援、交通環境学習に関する意見交換会の開催内容、交通環境学習にかかわる教育支援制度の認知度及び活用意向についての4項目、全8問とした。

表 調査項目

項目	設問	
交通環境学習の実施状況	問1	令和5年度の「交通環境学習」実施状況
	副問1.1	(実施した)「交通環境学習」の実施時期、主体、対象、内容
	副問1.2	(実施した)「交通環境学習」を実施した理由
	副問1.3	(実施した)「交通環境学習」の効果
	副問1.4	(実施していない/したことがない) 「交通環境学習」を実施した理由
今後の交通環境学習について	問2	令和6年度の実施予定
	問3	「交通環境学習」に取り組む上での課題や障壁
	問4	「交通環境学習」に取り組む場合に必要な支援
意見交換会について	問5	「交通環境学習」に関する意見交換会の内容
	問6	「交通環境学習」に関する意見交換会の開催方法
教員支援制度について	問7	支援制度の認知度
	問8	支援制度の活用意向

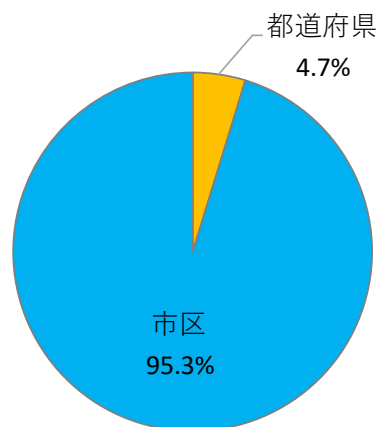
1.2 調査結果

1.2.1 回答者について

○「都道府県」から 16 件（構成比 4.7%）、「市区」から 321 件（構成比 95.3%）の回答を得た。

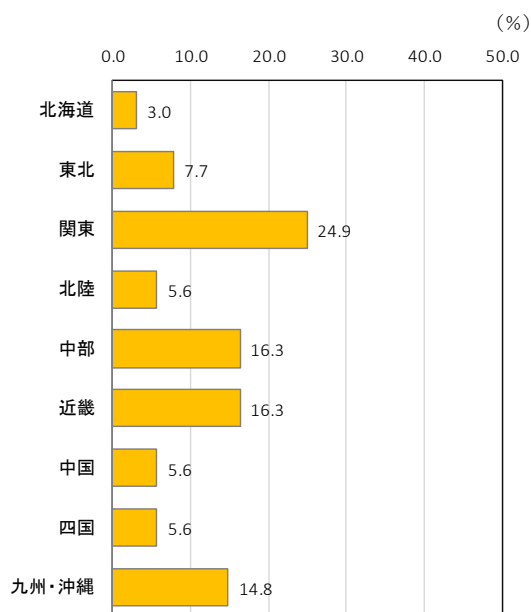
○回答票の構成比を地域別に見ると、「関東」が 24.9%と最も多く、次いで「中部」及び「近畿」が 16.3%となっている。

○人口規模別に見ると、「10 万人未満」が 55.5%と最も多く、次いで「10 万人以上 20 万人未満」が 19.6%、「20 万人以上 50 万人未満」が 14.2%となっている。



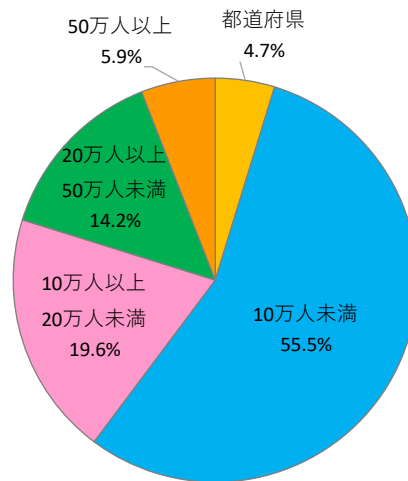
	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	16	4.7	11	3.8
市区	321	95.3	282	96.2
合計	337	100.0	293	100.0

図 回答自治体



	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	10	3.0	8	2.7
東北	26	7.7	26	8.9
関東	84	24.9	65	22.2
北陸	19	5.6	13	4.4
中部	55	16.3	50	17.1
近畿	55	16.3	44	15.0
中国	19	5.6	16	5.5
四国	19	5.6	16	5.5
九州・沖縄	50	14.8	55	18.8
合計	337	100.0	293	100.0

図 地方種別



	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	16	4.7	11	3.8
10 万人未満	187	55.5	168	57.3
10 万人以上 20 万人未満	66	19.6	45	15.4
20 万人以上 50 万人未満	48	14.2	51	17.4
50 万人以上	20	5.9	18	6.1
合計	337	100.0	293	100.0

図 人口規模別

1.2.2 設問ごとの回答状況

(1)「交通環境学習」の実施状況

1)「交通環境学習」の実施状況について

①令和5年度の実施状況

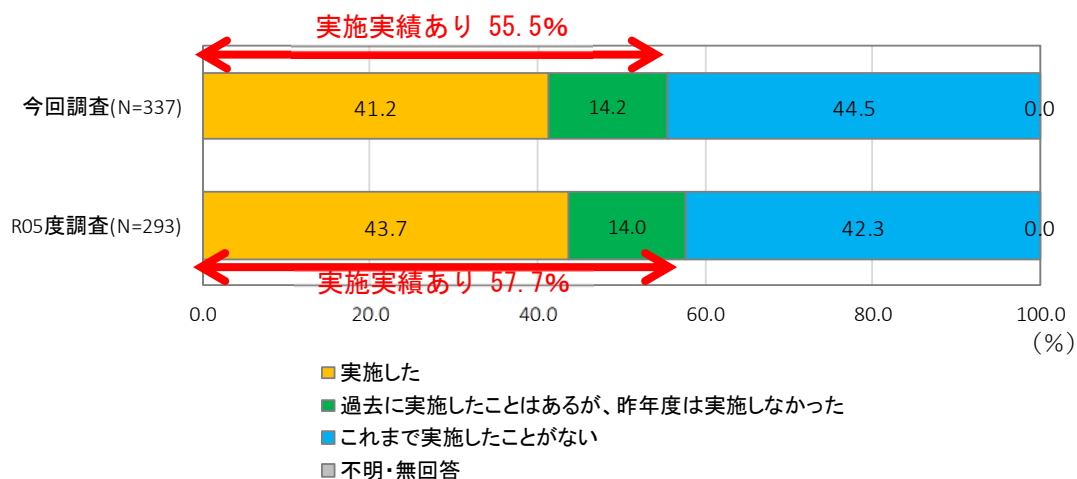
問1 貴自治体では昨年度（令和5年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

○交通環境学習の実施状況は、「実施した」が41.2%で昨年度より2.5ポイント減少している。

○実施実績がある自治体は55.5%で、昨年度調査と比較すると2.2ポイント減少している。

○地方別に見ると、6割以上の自治体に実施実績があるのは、近畿（78.2%）、中国（73.7%）、中部（63.6%）である。

○都道府県の実施率は81.3%、市区の実施率は54.2%となっており、市区について人口規模別にみると、人口規模が大きいほど実施率が高く、50万人以上の自治体では85.0%となっている。



	今回調査		R05 度調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	139	41.2	128	43.7	123	30.5
過去に実施したことはあるが、 昨年度は実施しなかった	48	14.2	41	14.0	106	26.3
これまで実施したことがない	150	44.5	124	42.3	174	43.2
合計	337	100.0	293	100.0	403	100.0
実施したことがある	187	55.5	169	57.7	229	56.8

図「交通環境学習」の実施状況

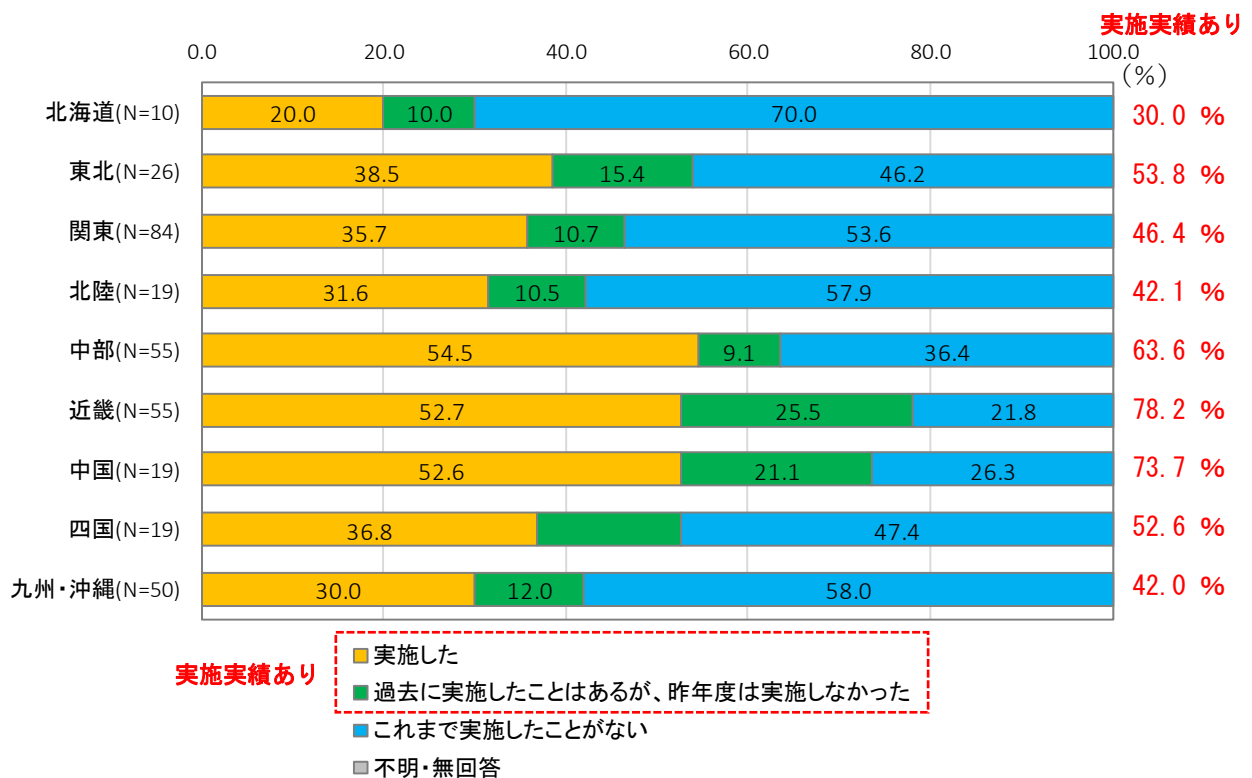


図 地方別「交通環境学習」の実施状況

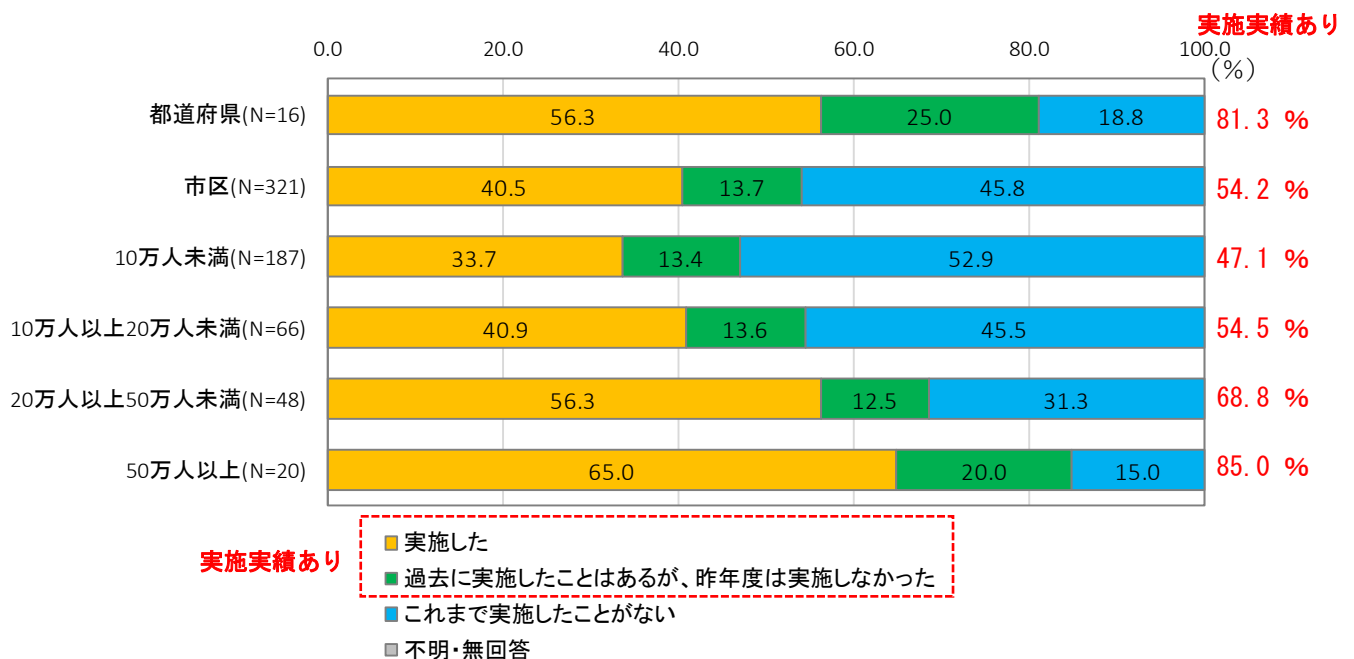
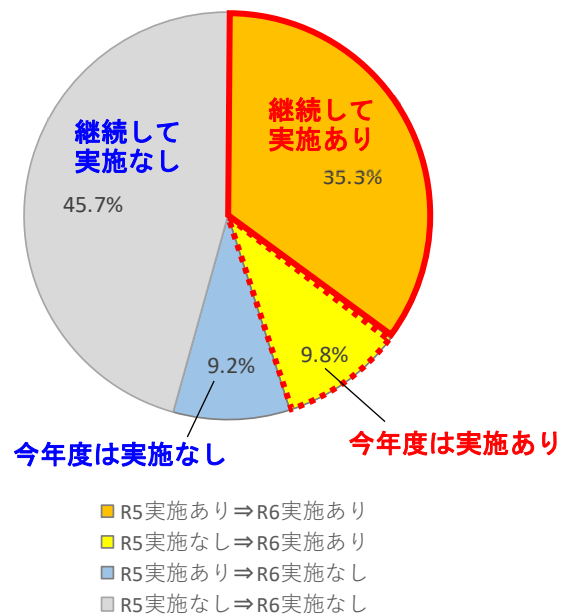


図 人口規模別「交通環境学習」の実施状況

(参考) 昨年度調査から継続して実施している自治体

○昨年度及び今年度回答があった 173 自治体のうち、継続して「実施した」と回答した自治体は 35.3%となっている。

○昨年度調査では「実施していない」と回答したが、今年度調査では「実施した」と回答した自治体は 9.8%となっている。



R5 調査 (R4 年度実施状況)	R6 調査 (R5 年度実施状況)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施あり	実施あり	61	35.3
実施なし	実施あり	17	9.8
実施あり	実施なし	16	9.2
実施なし	実施なし	79	45.7
回答自治体数 (R5・R6 調査で回答あり)		173	100.0

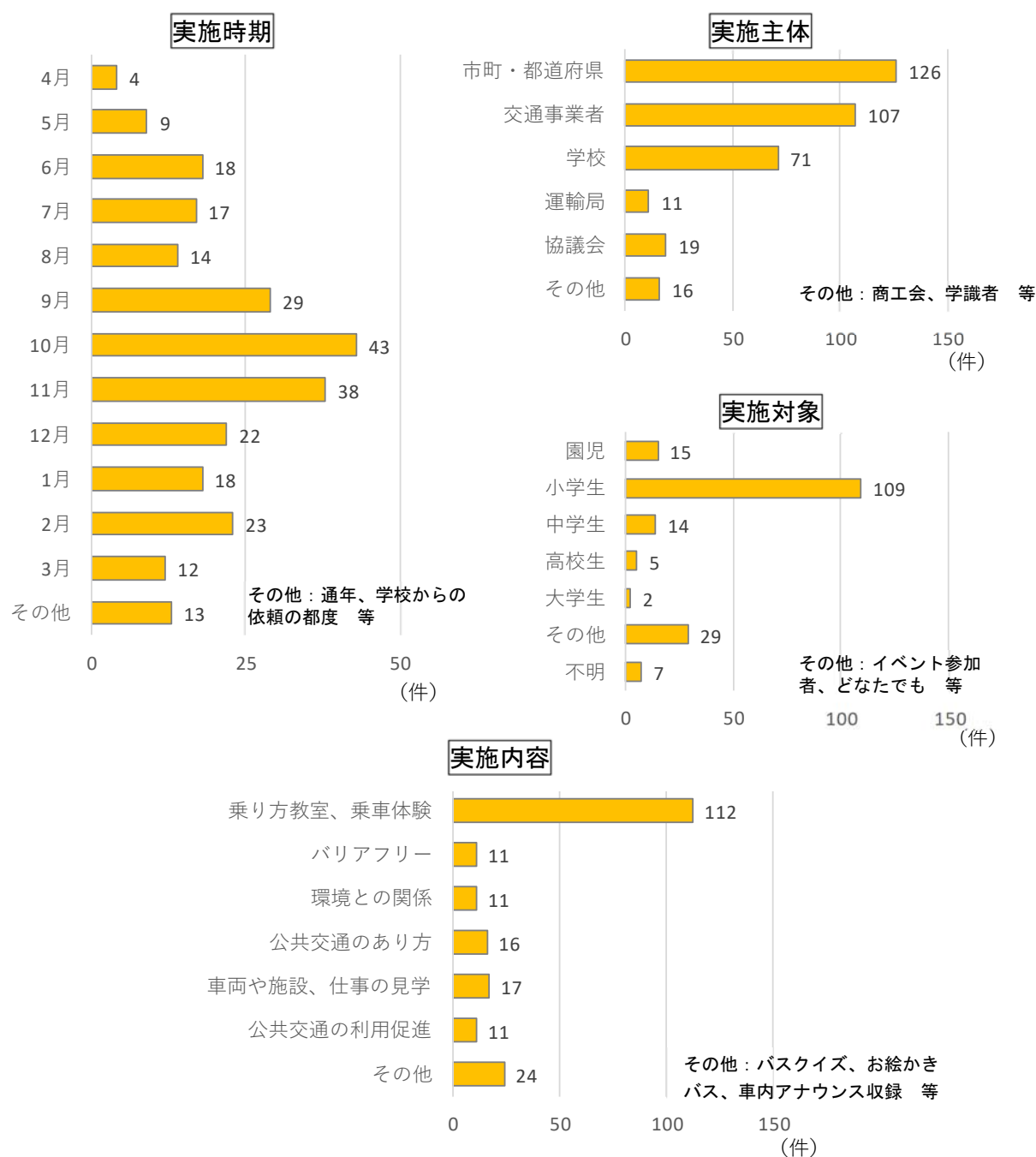
②「交通環境学習」の実施内容

（問１で「１」（実施した）とお答えの方にお伺いします。）

副問 1.1 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」について、実施時期、実施主体、実施対象、実施内容等についてお答えください。

○昨年度、交通環境学習を実施した 139 自治体に対し、実施時期、実施主体、実施対象、実施内容について聞いたところ、下記のような結果となった。

○実施時期は 10 月、11 月、9 月の順に多く、実施主体は主に自治体（市町・都道府県）、交通事業者、学校、実施対象は小学生が最も多くなっている。実施内容は乗り方教室、乗車体験が最も多くなっている。

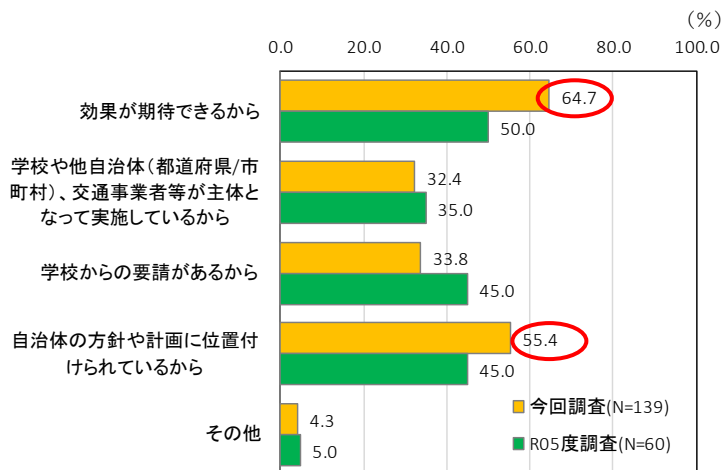


③「交通環境学習」を実施した理由

(問1で「1」(実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 1.2 「交通環境学習」を実施した理由は何ですか？(いくつでも)

○昨年度に交通環境学習を実施した理由は、「効果が期待できるから」が64.7%と最も高く、次いで「自治体の方針や計画に位置付けられているから」が55.4%となっている。「効果が期待できるから」は昨年度に比べ14.7ポイント高くなっている。



	今回調査		R05 度調査※		R04 度調査※	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
効果が期待できるから	90	64.7	30	50.0	30	49.2
学校や他自治体(都道府県/市町村)、交通事業者等が主体となって実施しているから	45	32.4	21	35.0	22	36.1
学校からの要請があるから	47	33.8	27	45.0	23	37.7
自治体の方針や計画に位置付けられているから	77	55.4	27	45.0	28	45.9
その他	6	4.3	3	5.0	5	8.2
合計(回答対象件数)	139	100.0	60	100.0	61	100.0

※R4・5 度調査は継続して実施(前年度調査でも実施あり)している自治体のみ回答

図 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

■「5. その他」の主な内容

- ・学校統合により通学距離が長くなり、路線バスを通学に利用する児童が想定されることから、その配慮として実施した。
- ・幼少期から公共交通に触れる機会を創出することにより、身近な移動手段の一つとして捉えてもらい、利用開始のハードルを下げるのが期待できるから。
- ・公共交通の利用促進効果が期待できるから。
- ・社交金の活用

③「交通環境学習」の効果

(問1で「1」(実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 1.3 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか？

- 昨年度、交通環境学習を実施した自治体の考える「交通環境学習」の効果について下記の項目で自由意見を整理した。
- 「交通環境学習」の効果として最も多く挙げられたのは「公共交通の利用促進、公共交通への親しみや利用のきっかけとなる」が111件であった。
- 次いで、「地球環境への関心、行動変容につながる」、「公共交通の維持や地域に関心を持つきっかけとなる」が多くなっている。

表 「交通環境学習」の効果（自由記述内容）

分類項目	件数 (件)
公共交通の利用促進、公共交通への親しみや利用のきっかけとなる	111
地球環境への関心、行動変容につながる	17
公共交通の維持や地域に関心を持つきっかけとなる	16
利用ルールやマナーが習得できる	8
職業に興味を持ってもらい、運転士不足の解消につなげる	7
バリアフリーに対する理解が深まる	5
事故防止、安全な利用について学ぶことができる	5
その他	4

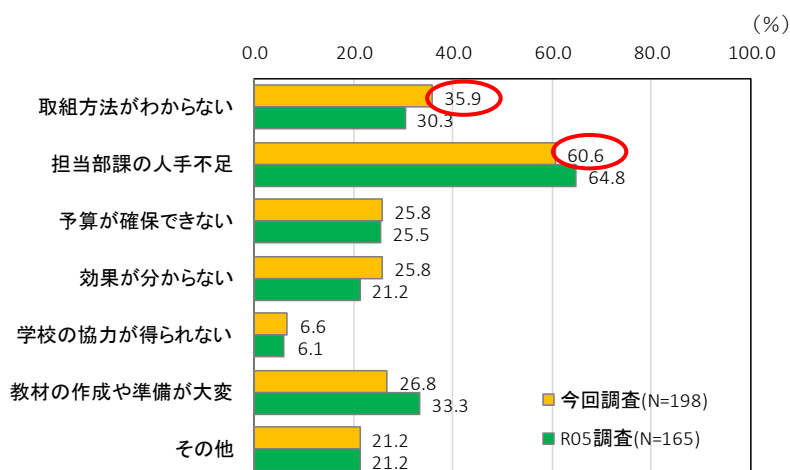
※ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

④「交通環境学習」を実施しなかった理由

（問１で「２」、「３」とお答えの方にお伺いします。）

副問 1.4 昨年度「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

○昨年度、交通環境学習を実施しなかった理由は、「担当部課の人手不足」が60.6%と最も多く、次いで「取組方法がわからない」が35.9%となっている。また、その他の意見としては、「教材の作成や準備が大変」、「予算が確保できない」、「効果が分らない」が多く挙げられた。



	今回調査		R05 度調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組方法がわからない	71	35.9	50	30.3	76	37.3
担当部課の人手不足	120	60.6	107	64.8	120	58.8
予算が確保できない	51	25.8	42	25.5	46	22.5
効果が分らない	51	25.8	35	21.2	66	32.4
学校の協力が得られない	13	6.6	10	6.1	13	6.4
教材の作成や準備が大変	53	26.8	55	33.3	50	24.5
その他	42	21.2	35	21.2	35	17.2
合計（回答対象件数）	198	100.0	165	100.0	204	100.0

図 実施しなかった理由

■「7. その他」の主な意見

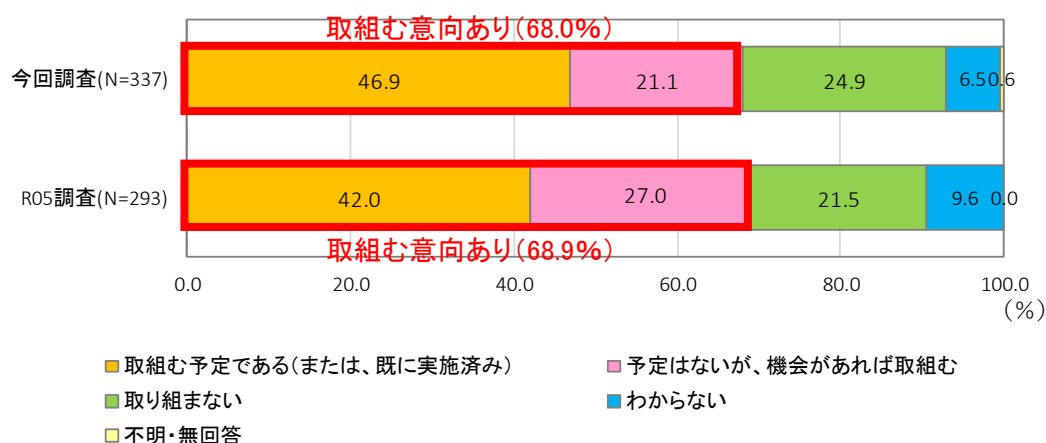
分類項目	件数（件）
学校からの依頼、要望がなかった	12
授業時間の確保、人手不足などで取り組む余裕がなかった	9
学校や事業者などが主体で取り組んでいる	6
特に検討していない	6
新型コロナウイルスの影響	5
その他	5

(2) 今後の「交通環境学習」について

1) 今年度の「交通環境学習」の実施予定

問2 今年度（令和6年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

○「取り組む予定である」は46.9%で昨年度より4.9ポイント増加している。「予定はないが、機会があれば取り組む」と回答したものも含めると、68.0%が取り組む意向があると回答している。



	今回調査		R05 調査		R04 調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である（または、既に実施済み）	158	46.9	123	42.0	194	48.1
予定はないが、機会があれば取り組む	71	21.1	79	27.0	—	—
取り組まない	84	24.9	63	21.5	145	36.0
わからない	22	6.5	28	9.6	64	15.9
不明・無回答	2	0.6	0	0.0	0	0.0
合計	337	100.0	293	100.0	403	100.0
取組む予定あり	229	68.0	202	68.9	194	48.1

図 「交通環境学習」に取り組む予定

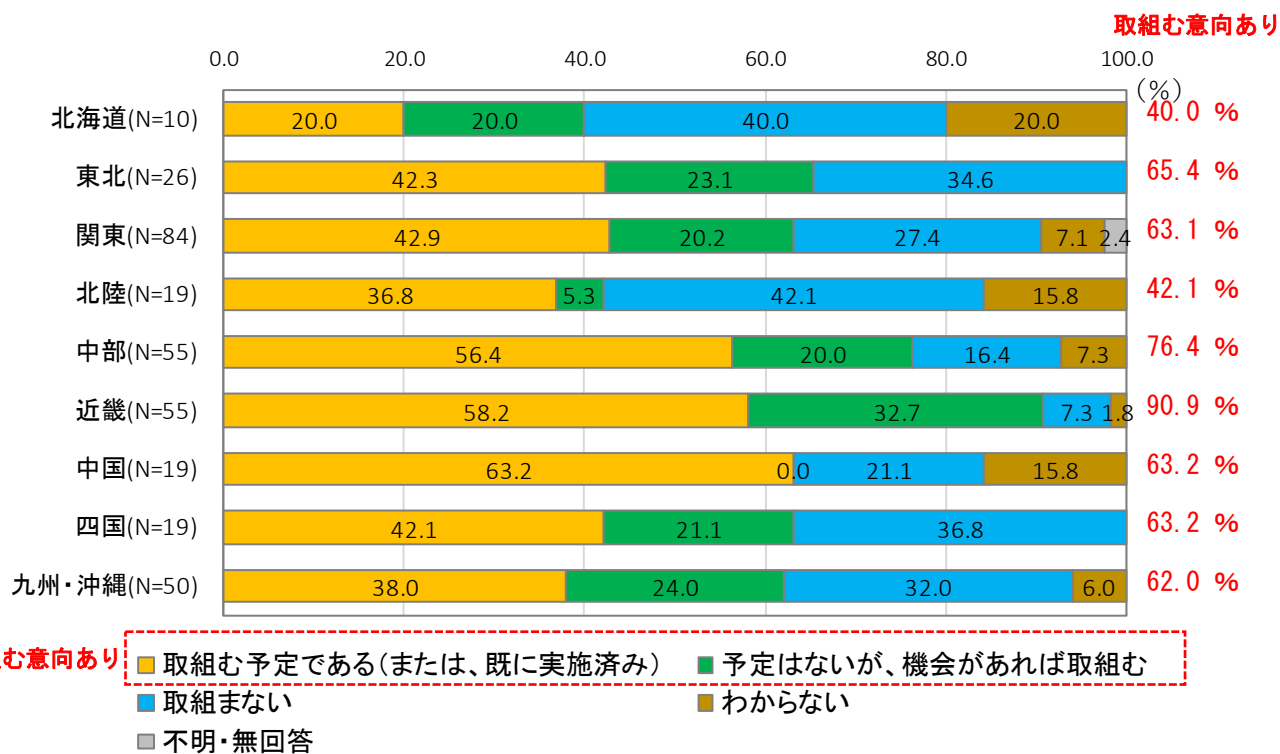


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

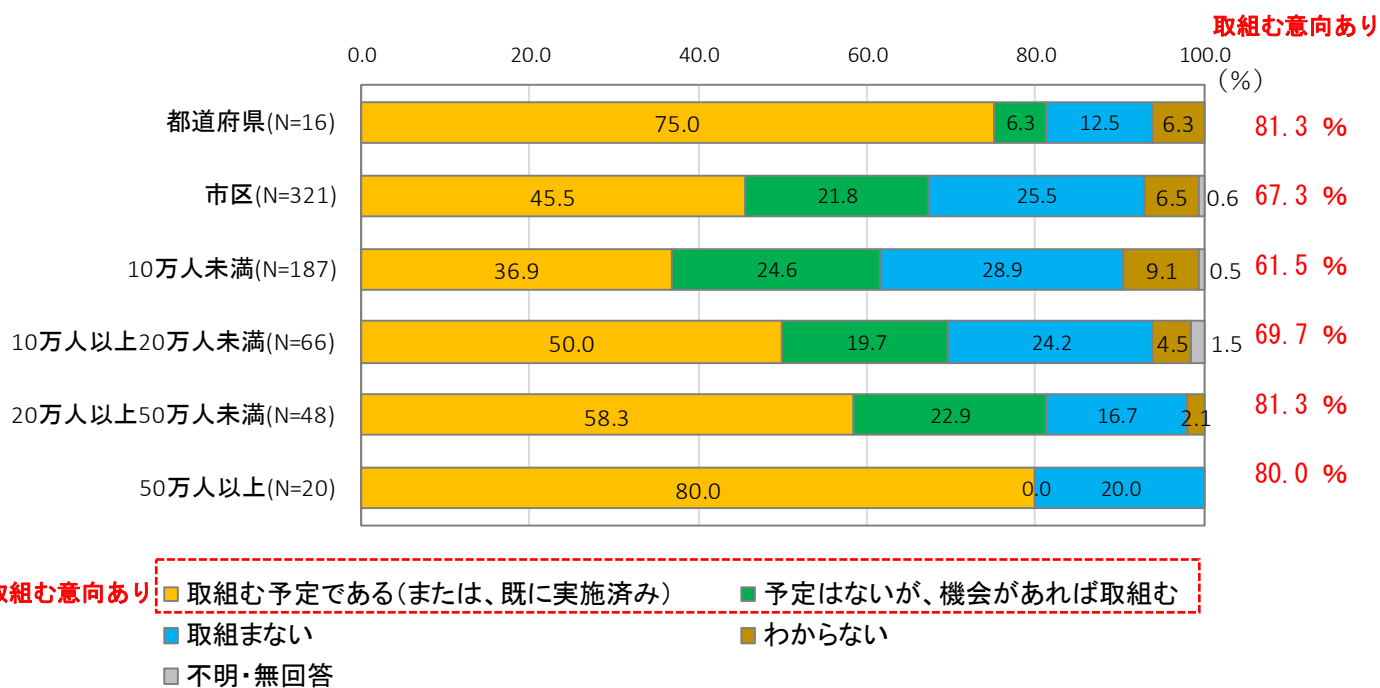
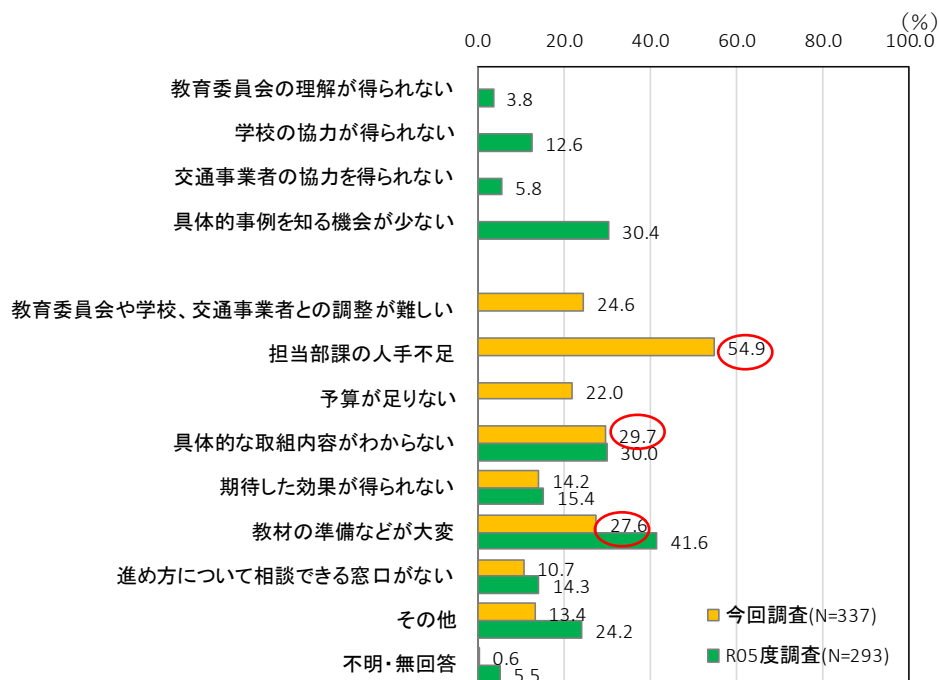


図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

2)「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

問3 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「担当部課の人手不足」が54.9%と最も高く、次いで「具体的な取組内容がわからない」が29.7%、「教材の準備などが大変」が27.6%となっている。



	今回調査		R05 度調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)
教育委員会の理解が得られない			11	3.8	15	3.7
学校の協力が得られない			37	12.6	51	12.7
交通事業者の協力を得られない			17	5.8	13	3.2
具体的事例を知る機会が少ない			89	30.4	114	28.3
教育委員会や学校、交通事業者との調整が難しい（自由記述：誰とどんな調整が難しいか）	83	24.6	—	—	—	—
担当部課の人手不足	185	54.9	—	—	—	—
予算が足りない	74	22.0	—	—	—	—
具体的な取組内容がわからない	100	29.7	88	30.0	125	31.0
期待した効果が得られない	48	14.2	45	15.4	73	18.1
教材の準備などが大変	93	27.6	122	41.6	178	44.2
進め方について相談できる窓口がない	36	10.7	42	14.3	68	16.9
その他	45	13.4	71	24.2	95	23.6
不明・無回答	2	0.6	16	5.5	7	1.7
合計（回答対象件数）	337	100.0	293	100.0	403	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

3)「交通環境学習」に取り組む場合に支援してほしい事柄

問4 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

○「交通環境学習」に取り組む場合に支援してほしい内容について、下記の分類項目で自由意見を整理した。

○支援してほしい事柄として最も多く挙げられたのは「教材・ノベルティ・データ等の提供」で、62件であった。次いで、「事例紹介」「進め方等のノウハウの提供」に関する意見が多く挙げられた。

表 「交通環境学習」に取り組む場合に支援してほしい事柄（自由記述内容）

分類項目	件数 (件)
教材・ノベルティ・データ等の提供	62
事例紹介	39
進め方等のノウハウ提供	30
講師等の派遣	24
費用負担・補助	21
相談、研修等	13
交通環境学習の周知・理解促進	9
運転士やバス車両の手配に関する支援	4
学習効果の提示	3
その他	4

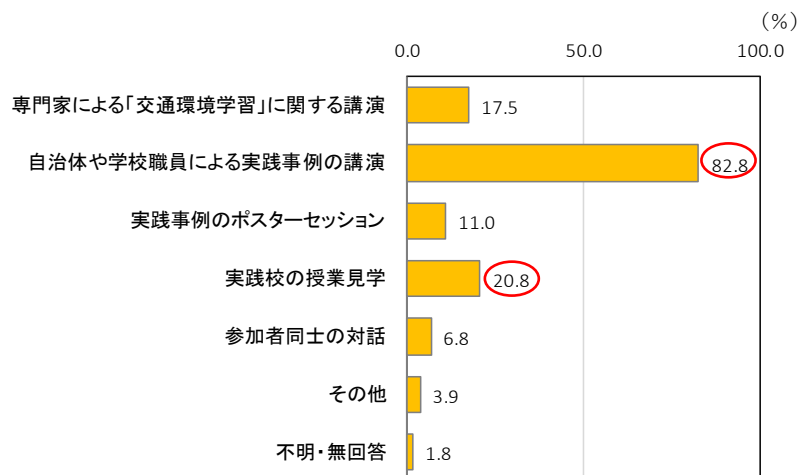
※ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

(3) 「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する意見交換会について

1) 意見交換会の内容について

問5 エコモ財団では、「交通環境学習」に関する意見交換会の開催を検討しています。どのような内容に興味がありますか？（いくつでも）

○意見交換会の内容については、「自治体や学校職員による実践事例の講演」が82.8%と最も多く、次いで「実践校の授業見学」が20.8%となっている。



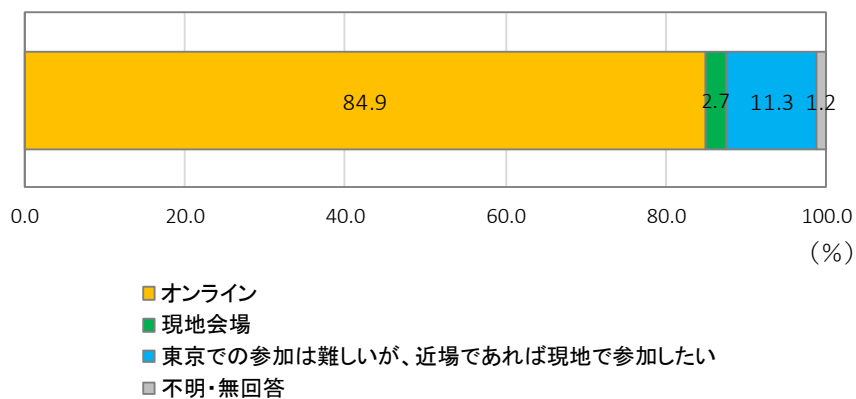
	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
専門家による「交通環境学習」に関する講演	59	17.5
自治体や学校職員による実践事例の講演	279	82.8
実践事例のポスターセッション	37	11.0
実践校の授業見学	70	20.8
参加者同士の対話	23	6.8
その他	13	3.9
不明・無回答	6	1.8
合計	337	100.0

図 意見交換会の内容

2) 意見交換会の実施方法について

問6 意見交換会を開催する場合、第1回目は東京での開催を検討しています。意見交換会に参加する場合は、オンラインまたは現地会場どちらでの参加を希望しますか？（1つに○）

○意見交換会の参加方法は、「オンライン」が84.9%となっている。



	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
オンライン	286	84.9
現地会場	9	2.7
東京での参加は難しいが、近場であれば現地で参加したい	38	11.3
不明・無回答	4	1.2
合計	337	100.0

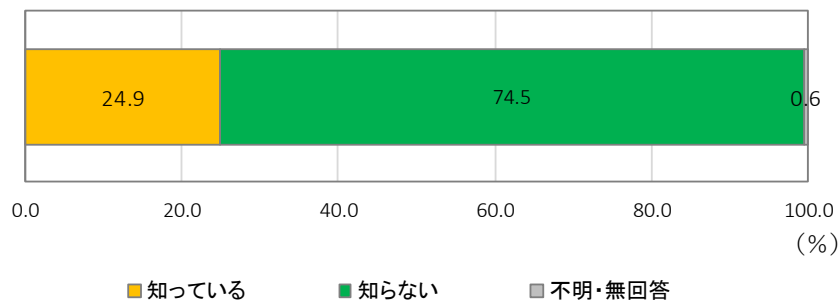
図 意見交換会の参加方法

(4) 交通環境学習にかかわる支援制度について

1) 支援制度の認知度について

問7 エコモ財団では、「交通環境学習」を普及するため、小中学生・高校生を対象にしたモビリティマネジメント教育に取り組む地方公共団体に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行っています。この支援制度を知っていますか？（1つに○）

○支援制度の認知度については、「知らない」が74.5%、「知っている」が24.9%となっている。



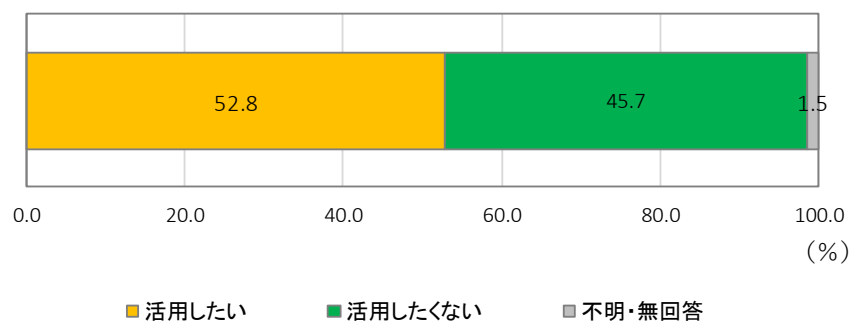
	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
知っている	84	24.9
知らない	251	74.5
不明・無回答	2	0.6
合計	337	100.0

図 支援制度の認知度

2) 支援制度の活用意向について

問8 エコモ財団の交通環境学習にかかわる支援制度を活用したいと思いますか？（1つに○）

○支援制度の活用意向については、「活用したい」が52.8%、「活用したくない」が45.7%となっている。



	今回調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)
活用したい	178	52.8
活用したくない	154	45.7
不明・無回答	5	1.5
合計	337	100.0

図 支援制度の活用意向

2. 教育委員会向けアンケート

2.1 調査の概要

2.1.1 調査の目的

全国の教育委員会を主体としたにおける交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

2.1.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 6 年 10 月 15 日（月）～令和 6 年 11 月 15 日（金）

2.1.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 95 件（11.0%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	82	86.3
FAX		8	8.4
メール		5	5.3
総計	862	95	100.0

<参考> 過年度調査の回収方法と回収率

	令和 5 年度調査		令和 4 年度調査		令和 3 年度調査	
	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	43	79.6	98	84.5	92	82.9
FAX	9	16.7	16	13.8	12	10.8
メール	2	3.7	2	1.7	7	6.3
有効回収件数	54	100.0	116	100.0	111	100.0
	回収率 6.3%		回収率 13.5%		回収率 12.9%	

2.1.4 調査項目及び調査票の設計

アンケート調査項目は、昨年度の交通環境学習の実施状況、今年度の実施予定、交通環境学習の普及・推進についての3項目、全5問とした。

表 調査項目

項目	設問	
交通環境学習の実施状況	問1	令和5年度の「交通環境学習」実施状況
	副問1.1	(実施した)「交通環境学習」の実施時期、主体、対象、内容
今後の交通環境学習について	問2	令和6年度の実施予定
交通環境学習の普及・推進について	問3	「交通環境学習」の効果
	問4	「交通環境学習」の普及方法、必要な支援
	問5	「交通環境学習」に取り組む上での課題や障壁

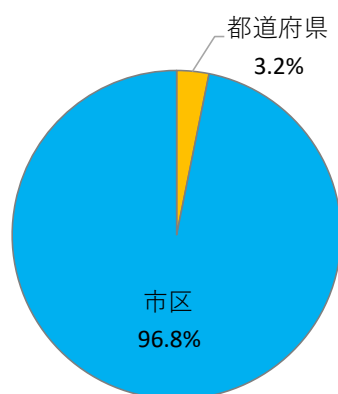
2.2 調査結果

2.2.1 回答者について

○「都道府県」から3件(3.2%)、「市区」から92件(96.8%)の回答を得た。

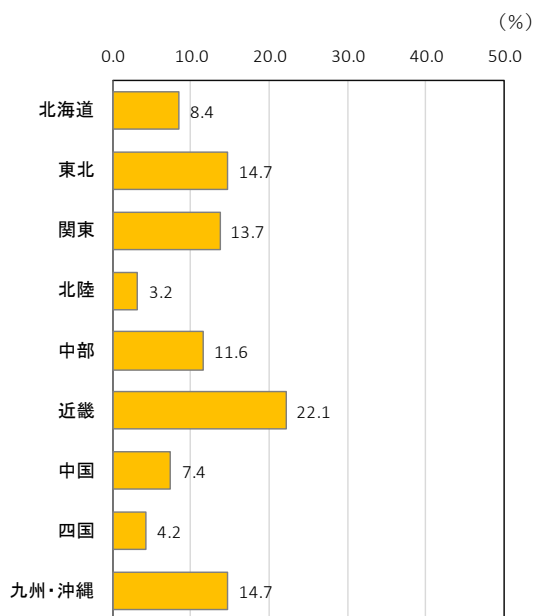
○構成比を地域別に見ると、「近畿」が22.1%、「東北」及び「九州・沖縄」が14.7%と多くなっている。

○人口規模別に見ると、「10万人未満」が63.2%と最も多く、次いで「10万人以上20万人未満」が20.0%となっている。



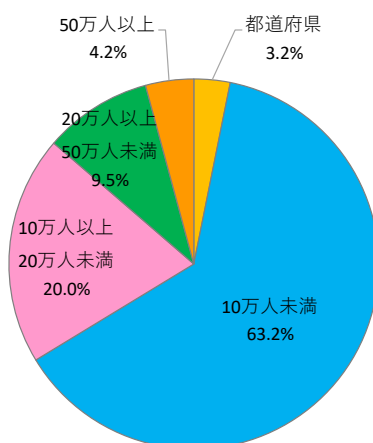
	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	3	3.2	0	0.0
市区	92	96.8	54	100.0
合計	95	100.0	54	100.0

図 都道府県/市区の内訳



	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	8	8.4	4	7.4
東北	14	14.7	7	13.0
関東	13	13.7	9	16.7
北陸	3	3.2	2	3.7
中部	11	11.6	2	3.7
近畿	21	22.1	13	24.1
中国	7	7.4	4	7.4
四国	4	4.2	3	5.6
九州・沖縄	14	14.7	10	18.5
合計	95	100.0	54	100.0

図 地方種別



	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	3	3.2	0	0.0
10 万人未満	60	63.2	37	68.5
10 万人以上 20 万人未満	19	20.0	5	9.3
20 万人以上 50 万人未満	9	9.5	10	18.5
50 万人以上	4	4.2	2	3.7
合計	95	100.0	54	100.0

図 人口規模別

2.2.2 設問ごとの回答状況

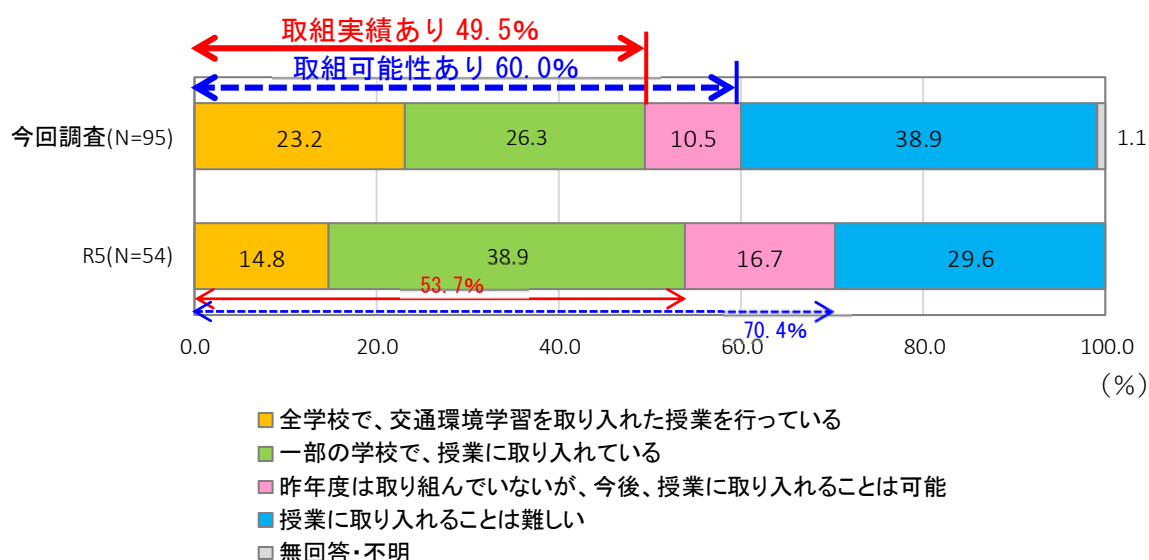
(1)「交通環境学習」の実施状況

1)「交通環境学習」の実施状況について

①令和5年度の実施状況

問1 貴教育委員会が所管する学校では、昨年度（令和5年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（近いもの1つに○）

- 交通環境学習の取組状況は、「一部の学校で、授業に取り入れている」が26.3%、「全校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている」が23.2%、「昨年度は取組んでいないが、今後授業に取り入れることは可能」が10.5%、「授業に取り入れることは難しい」が38.9%、となっている。
- 全校または一部で授業を行っている取組実績のある教育委員会は49.5%で、昨年度調査と比較して4.2ポイント減少している。
- 取組実績のある教育委員会及び、今後授業に取り入れることは可能な取組可能性のある教育委員会は60.0%と、昨年度から10.4ポイント減少している。



	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
全校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている	22	23.2	8	14.8
一部の学校で、授業に取り入れている	25	26.3	21	38.9
今は取組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能	10	10.5	9	16.7
授業に取り入れることは難しい	37	38.9	16	29.6
無回答・不明	1	1.1	0	0.0
合計	95	100.0	54	100.0

図 「交通環境学習」の取組状況

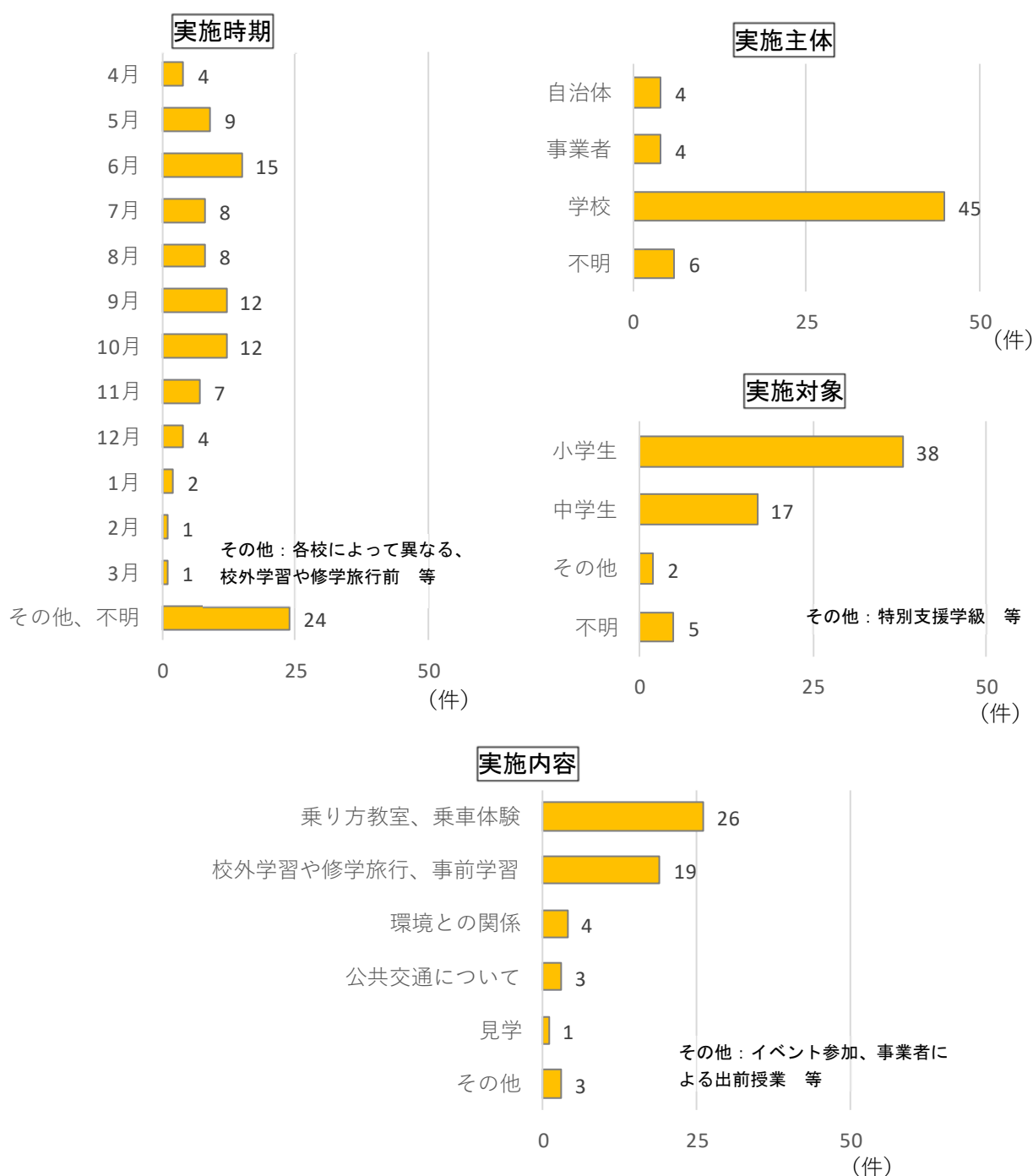
②「交通環境学習」の実施内容

(問1で「1」、「2」とお答えの方にお伺いします。)

副問 1.1 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」について、実施時期、実施主体、実施対象、実施内容等についてお答えください。

○昨年度、交通環境学習を実施した52の教育委員会に対し、実施時期、実施主体、実施対象、実施内容について聞いたところ、下記のような結果となった。

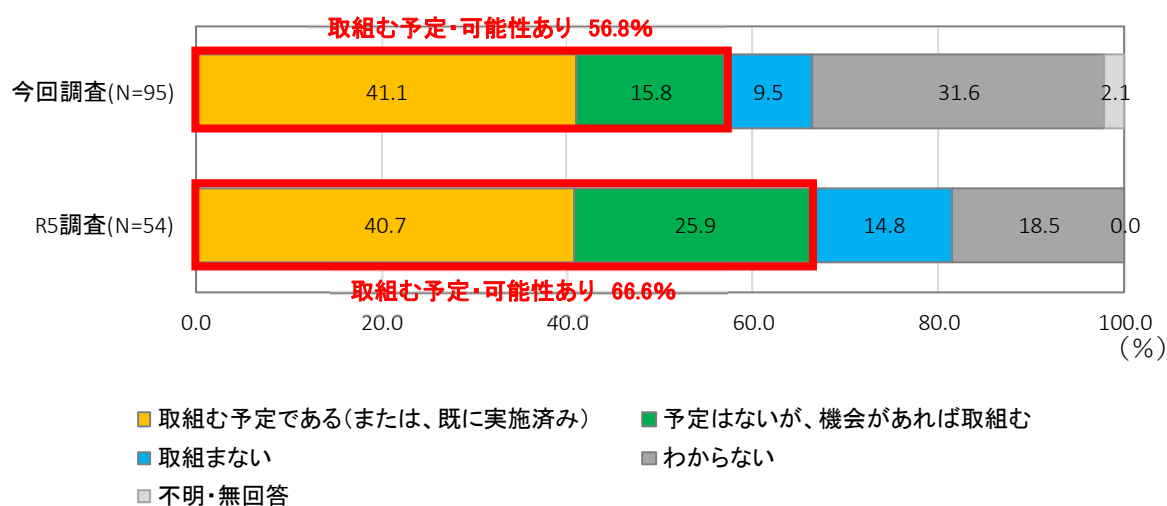
○実施時期は6月、9月、10月が多く、実施主体は主に学校、実施対象は小学生が最も多くなっている。実施内容は乗り方教室、乗車体験と校外学習や修学旅行の事前学習が多くなっている。



(2) 今後の「交通環境学習」について

問2 今年度（令和6年度）、貴教育委員会が所管する学校では、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

- 「取り組む予定（または実施済み）」としているのは41.1%で、昨年度よりも0.4ポイント増加している。
- 「予定はないが、機会があれば取り組む」としているのは15.8%となっている。
- 「わからない」が31.6%、「取り組まない」が9.5%となっている。



	今回調査		R05 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組む予定である（または、既に実施済み）	39	41.1	22	40.7
予定はないが、機会があれば取組む	15	15.8	14	25.9
取組まない	9	9.5	8	14.8
わからない	30	31.6	10	18.5
不明・無回答	2	2.1		
合計	95	100.0	54	100.0
取組む予定・可能性あり	54	56.8	36	66.6

図 「交通環境学習」に取り組む予定

(3) 「交通環境学習」の普及・推進について

1) 「交通環境学習」の効果

問3 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む学校は、全国で少しずつ増えています。また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。貴教育委員会としては、「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか。

○「交通環境学習」に期待する効果としては、「地球環境への理解が深まる、SDGsに関連した学習」が46件と最も多く、次いで「住んでいるまちへの理解、地域と公共交通の関係性の理解が深まる」、「公共交通の乗り方、公共の場でのルールやマナーが身に付く」が多くなっている。

表 「交通環境学習」の効果（自由記述内容）

分類項目	件数 (件)
地球環境への理解が深まる、SDGsに関連した学習	46
住んでいるまちへの理解、地域と公共交通の関係性の理解が深まる	27
公共交通の乗り方、公共の場でのルールやマナーが身に付く	25
公共交通の利用促進につながる	7
計画性や行動力が身に付く	3
キャリア教育につながる	2
その他	3

※ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

2) 「交通環境学習」の普及方法、必要な支援

問4 学校現場において、教員が「交通環境学習」を実施するためには、どのような普及方法が考えられますか。また、必要な支援等があれば教えてください。

○「交通環境学習」の普及方法や必要な支援については、「「交通環境学習」の周知」が24件と最も多く、次いで「教科（学習指導要領）への取入れ、SDGsとの関連付け」、「講師の派遣、出前授業」、「教材の提供」が多くなっている。

表 「交通環境学習」の普及方法、必要な支援（自由記述内容）

分類項目	件数 (件)
「交通環境学習」の周知	24
教科（学習指導要領）への取入れ、SDGsとの関連付け	18
講師の派遣、出前授業	18

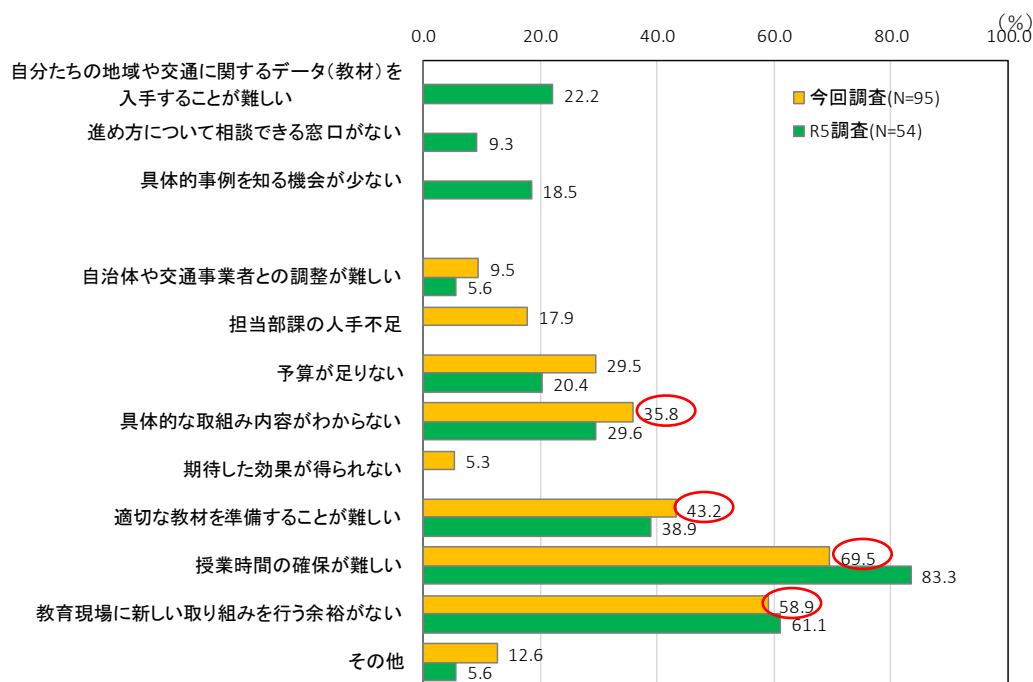
教材の提供	18
校外学習との関連付け	8
研究会等の開催	5
プログラム案の作成、参加	4
費用の補助	3
乗車体験	3
その他	3

※ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

3) 「交通環境学習」の課題や障壁

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「授業時間の確保が難しい」が69.5%、次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」が58.9%となっている。また、「適切な教材を準備することが難しい」が43.2%、「具体的な取り組み内容がわからない」が35.8%となっている。



	今回調査		R05 調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
自分たちの地域の交通やデータ（教材）を入手することが難しい			12	22.2
進め方について相談できる窓口がない			5	9.3
具体的事例を知る機会が少ない			10	18.5
自治体や交通事業者との調整が難しい (自由記述：誰とどんな調整が難しいか)	9	9.5	3	5.6
担当部課の人手不足	17	17.9	—	—
予算が足りない	28	29.5	11	20.4
具体的な取り組み内容がわからない	34	35.8	16	29.6

期待した効果が得られない	5	5.3	-	-
適切な教材を準備することが難しい	41	43.2	21	38.9
授業時間の確保が難しい	66	69.5	45	83.3
教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない	56	58.9	33	61.1
その他	12	12.6	3	5.6
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計（回答対象者数）	95	100.0	54	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

■「1. 誰とどんな調整が難しいか」の主な意見

- ・学校、交通事業者との日程調整
- ・県などとの調整
- ・日程調整
- ・事業者側の受け入れ学校数に限りがある
- ・市教委と民間バス会社との調整

■「9. その他」の主な意見

<学習指導要領との関係>（5件）

- ・学習指導要領の内容との整理がつきにくい。
- ・学習計画を構成する上での内容と交通環境学習とのマッチング
- ・交通環境学習という学習は、学習指導要領に示されていないため、新しいもののように思われますが、すでに今やっていることの中にはつながる内容もあります。”新しい分野”という意識が障壁になると思われる。
- ・学習指導要領に基づいた学習内容を確実に行っていくことが重要です。その中で、交通環境学習を取り入れることが良いと判断する場合に実施されたいと考えます。
- ・社会科等で環境問題に関する学習の一題材として既に取り上げており、それ以上の授業時数の確保は難しい。

<地域や学校の実情>（3件）

- ・地域に運行されているバスに乗せてあげたいが、地域によっては日に2本しかなく、教育課程の時間内に行って帰るのが困難
- ・児童数が多い学校での人数に関する障壁あり。（電車等を利用した交通環境学習では、児童一人ひとりが切符を購入するような指導を行いたい、児童数が多い規模の大きい学校では、購入に時間を要することから、それが実現できず、本来行いたい交通環境学習が行えないことがある。）
- ・バス路線がない

3. アンケート調査結果のまとめと今後の課題

(1) アンケート調査結果のまとめ

①都道府県・市を対象としたアンケート

- ・本年度調査において回答を得た 337 自治体における、昨年度の交通環境学習の実施状況は 41.2% で、昨年度より 2.5 ポイント減少した。
- ・昨年度は実施していないもののこれまでに実施したことがある団体もあわせると、交通環境学習の実施経験のある団体は 55.5% となり、昨年度調査に比べ 2.2 ポイント減少した。
- ・昨年度及び今年度回答があった自治体のうち、昨年度から継続して実施した自治体は 35.3%、今年度から開始した自治体は 9.8%、昨年度実施したが今年度は実施していない自治体は 9.2% であった。
- ・交通環境学習を実施した理由として、「効果が期待できる」が 57.1%、「自治体の方針や計画に位置付けられている」が 46.8% であった。
- ・交通環境学習の効果としては、「公共交通の利用促進、親しみや利用のきっかけづくり」を挙げている自治体が最も多い結果であった。
- ・昨年度交通環境学習に取り組んでいない団体における取組まなかった理由としては、「担当部課の人手不足」を挙げた団体が最も多く、次いで「取組方法が分からない」、「教材の作成や準備が大変」といった理由であった。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、取り組む予定である自治体が 46.9% と、昨年度より 4.9 ポイント増加した結果となった。一方で、21.1% の自治体が「予定はないが、機会があれば取組む」と回答しており、これをあわせると、68.0% の自治体に取り組む意向があると回答している。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「担当部課の人手不足」が最も多く、次いで「具体的な取組内容がわからない」、「教材の準備などが大変」という回答が多くなっている。
- ・今後、交通環境学習に取り組む場合に支援してほしい事柄については、「教材・ノベルティ・データ等の提供」「事例紹介」「進め方のノウハウ等の提供」など交通環境学習の具体的な内容、進め方に関する情報や教材提供を求める意見が最も多くなっている。また、「講師等の派遣」「費用負担・補助」「相談・研修等」といった人材、費用面でのサポートを望む意見も多くなっている。
- ・交通環境学習に関する意見交換会の内容として興味があるものとしては「自治体や学校職員による実践事例の講演」が 82.8% と最も多く、開催方法としては「オンライン」の希望が 84.9% となっている。
- ・交通環境学習にかかわる支援制度の認知度については「知らない」が 74.5%、支援制度の活用意向については「活用したい」が 52.8% となっており、引き続き支援制度の周知が必要である。

②教育委員会を対象としたアンケート

- ・回答のあった教育委員会（95 件）が所管する学校での交通環境学習の実施状況について、取組実績があったのは 49.5% となった。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、「取り組む予定である」が 41.1%、「予定はないが、機会があれば取組む」が 15.8% で、取組む可能性がある自治体は 56.8% と昨年度より 9.8 ポイント減少している。

- ・教育委員会が考える交通環境学習の効果としては、「地球環境への理解が深まる、SDGs に関連した学習」が最も多く、次いで「住んでいるまち、地域と公共交通の関係の理解」「公共交通の乗り方、ルールやマナー」が多くなっている。
- ・交通環境学習の普及方法及び普及のための必要な支援については、「交通環境学習の周知」、「教科（学習指導要領）への取入れ、SDGs との関連付け」「講師の派遣、出前授業」「教材の提供」といった意見が多くなっている。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「授業時間の確保が難しい」が最も多く、次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」、「適切な教材を準備することが難しい」が挙げられ、昨年度とほぼ同様の結果となった。

（２）今後の課題

- ・交通環境学習に期待する効果として、自治体においては公共交通の利用促進、教育委員会においては地球環境への理解等の意見が最も多かったが、公共の場でのルールやマナー、バリアフリーといった交通・環境に直接かわるもののほか、職業への理解やキャリア教育、計画性や行動力が身に付くといった間接的なものまで幅広い内容が挙げられた。交通環境学習の間接的な効果についてもあわせて周知することで、自治体等の担当者に関心を持ってもらえる可能性が高まると考えられる。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題としては、例年と同様に人手不足や授業時間の余裕のなさが挙げられており、各者の負担が少なくなるようなサポートが必要であると考えられる。また、教育委員会のアンケートでは、交通環境学習の普及方法として、学習指導要領や社会・理科・総合的な学習の時間といった具体的な授業に取り入れるべきとの意見が多く挙げられており、引き続き学習指導要領や教科と結び付けて具体的な取り組み事例を周知する必要があると考えられる。
- ・交通環境学習に取り組む場合に必要な支援において、講師等の派遣や出前授業の他、相談や研修、研究会等の開催なども挙げられており、より具体的な事例紹介、意見交換の場が求められていると考えられる。

(参考) 過去支援実績の有無による分析

3. 支援実績ありの自治体の実施率

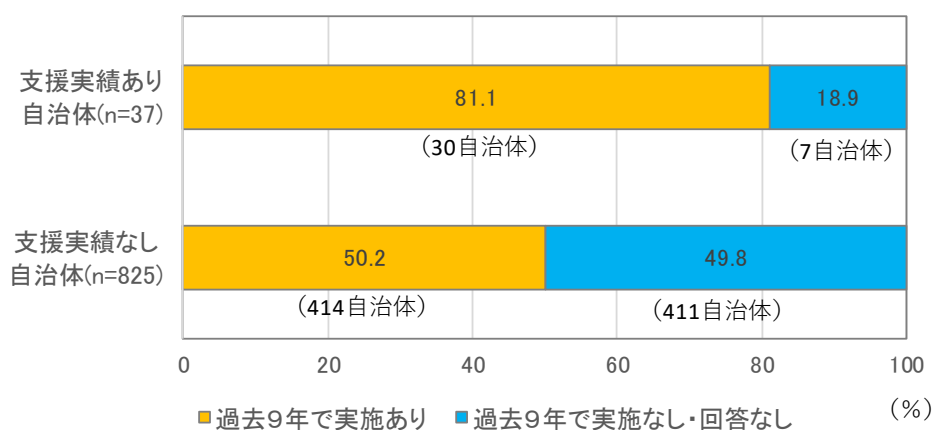
過去に支援実績のある 37 自治体及び支援実績のない 825 自治体について、過去 9 年間の調査のうち、交通環境学習を実施したと回答した回数（年数）ごとの自治体数は以下の通りである。

表 過去 9 年で「実施あり」と回答した回数ごとの自治体数

	9 年のうち「実施あり」と回答した回数（年数）										一度も 回答なし
	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	
支援実績あり (37 自治体)	6	2	7	4	3	3	6	3	2	0	1
支援実績なし (825 自治体)	380	132	94	62	43	30	24	20	7	2	31

過去 9 年で実施あり
支援実績あり：30 自治体
支援実績なし：414 自治体

過去 9 年で実施なし・回答なし
支援実績あり：7 自治体
支援実績なし：411 自治体



過去 9 年のうち交通環境学習を実施したと回答した自治体の割合は、支援実績ありの自治体で 81.1% (30 自治体)、支援実績なしの自治体で 50.2% (414 自治体) と、支援実績ありの自治体の方が大幅に多い結果となっている。

4. 支援実績ありの自治体にある学校の実施率

学校向けアンケートの調査対象

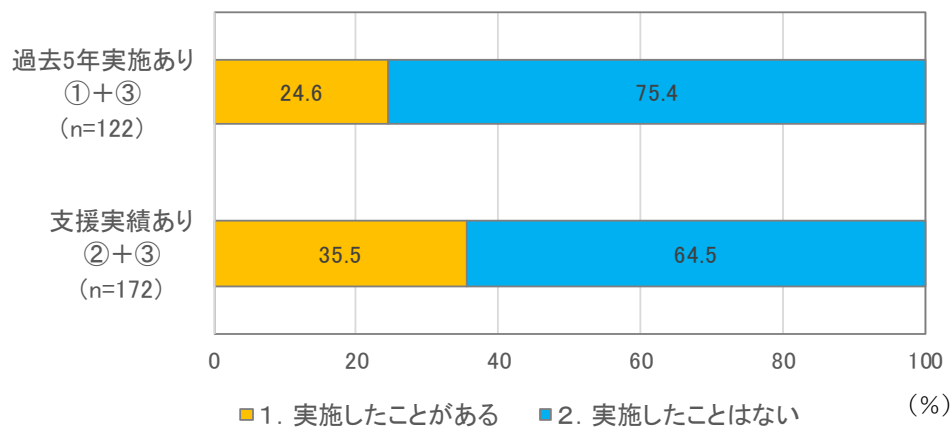
- ①過去5年間に交通環境学習の実施実績ある18自治体の小中学校（回答数：110校）
- ②過去に支援実績のある35自治体の小学校（回答数：160校）
- ③①かつ②である2自治体の小中学校（回答数：12校）



「過去5年間に実施あり（①+③）20自治体」と「支援実績あり（②+③）37自治体」にある学校について、交通環境学習の実施状況を比較した。

表 支援実績の有無による交通環境学習の実施状況

	回答数（校）		構成比（%）	
	過去5年 実施あり ①+③	支援実績 あり ②+③	過去5年 実施あり ①+③	支援実績 あり ②+③
1. 実施したことがある	30	61	24.6	35.5
2. 実施したことはない	92	111	75.4	64.5
合計（回答対象件数）	122	172	100.0	100.0



交通環境学習を実施したと回答した学校の割合は、支援実績ありで35.5%（61校）、過去5年間で実施ありの自治体で24.6%（30校）と、支援実績ありの自治体の方が高い結果となっている。

参考 1. アンケート調査票

①学校向けアンケート

調査票 D

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い



公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業並びに児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、全国の小中高等学校での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<https://www.mm-education.jp/>) での公表を予定しております。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

Ex) 公共交通機関を積極的に利用することで、クルマの利用に比べて、渋滞の解消や温室効果ガスの排出量を減らすことができます。

交通環境学習 の授業内容例

- ・イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）への参加
- ・バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・ご回答は、可能な限り教務主任の先生にお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード

■回収の期日

アンケートは、**9月20日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。



■調査票の回収方法（A・Bいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、アンケートページにて回答を入力できます
アンケートページ <https://mm-education.jp/survey.html>

B. メール

交通環境学習ポータルサイトから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：田中、岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

■ 貴校での「交通環境学習」の実施状況について

問 1 貴校では令和元年度以降に「交通環境学習」を実施したことがありますか？（1つに○）

※自治体からの依頼で行ったものや交通事業者等の取組に協力して実施したものも含まれます。

ご存じの範囲で構いません。

1. 実施したことがある

実施時期 (年度～ 年度) → 問2へ

2. 実施したことはない → 副問 1.1 へ

副問 1.1 問1で「2. 実施したことはない」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」の実施意向についてお伺いします。(1つに○)

1. 交通環境学習を実施したいが、できなかった → 副問 1.2 へ

2. 交通環境学習は実施したくない →問2へ

(実施したくない理由：)

3. わからない、検討したことがない → 問2へ

副問 1.2 副問 1.1 で「1. 交通環境学習を実施したいが、できなかった」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を実施できなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1. 交通環境学習の授業の組み立て方がわからない

2. 地方公共団体や交通事業者の協力を得られなかった

3. 学校内（学年内）での合意形成ができなかった

4. 授業時間の余裕がなかった

5. その他（具体的に：_____）

問2「交通環境学習」に関して、こういった情報や協力があれば取り組みやすくなると思いますか？

具体的に：

問3 近隣で「交通環境学習」を実施している学校があるかご存じですか？（1つに○）

1. 近隣で実施している学校がある

- ## 2. 知らない、わからない

■ 授業の題材等に関する情報収集について

問 4 授業の実施方法や題材に関して、普段どのように情報収集を行っていますか？情報提供元や参考になっているサイト等があれば教えてください。 ※交通環境学習の授業に限りません。

具体的に：

■ 「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する意見交換会について

問 5 エコモ財団では、先生方を対象とした「交通環境学習」に関する意見交換会の開催を検討しています。どのような内容に興味がありますか？（いくつでも）

1. 専門家による「交通環境学習」に関する講演
(講演の内容として希望すること：)
2. 自治体や学校職員による実践事例の講演
3. 実践事例のポスターセッション
4. 実践校の授業見学
5. 参加者同士の対話
6. その他（具体的に：)

問 6 意見交換会を開催する場合、第 1 回目は東京での開催を検討しております。意見交換会に参加する場合は、オンラインまたは現地会場どちらでの参加を希望しますか？（1 つに○）

1. オンライン
2. 現地会場
3. 東京での参加は難しいが、近場であれば現地で参加したい

問 7 意見交換会に参加しやすい時期や時間帯はありますか？（1 つに○）

1. 長期休暇（夏休み・冬休みなど）
2. 平日夕方、夜
3. 土日
4. その他（具体的に：)

■ 交通環境学習にかかわる教員支援制度について

問 8 エコモ財団では、「交通環境学習」を普及するため、鉄道やバスを題材とする学習に対して、1校あたり年間15万円の支援を行っています。この支援制度を知っていますか？（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない

問 9 エコモ財団の交通環境学習にかかわる支援制度を活用したいと思いますか？（1つに○）
※支援制度の詳細は、交通環境学習ポータルサイト（<https://www.mm-education.jp/>）よりご確認ください。

1. 活用したい
2. 活用したくない
(活用したくない理由：)

最後にご回答者様についてご記入ください。

■ ご回答者様について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

学校名			
役 職		氏 名	
TEL		e-mail	

- 交通環境学習メールマガジンの配信を希望されますか？

(過去の配信内容はこちら→https://mm-education.jp/mailmagazine.html#anchor_backnumber)

- ☐ 配信を希望する ☐ 配信を希望しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、9月20日（金）までに、インターネットで回答またはメールで返送願います。

交通環境学習ポータルサイトより、交通環境学習の実施方法や支援制度についてご覧いただけます。
(<https://www.mm-education.jp/>)

具体的な支援内容や過去の取組事例等に関するご相談は、
「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部」までお問い合わせください。
TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い



公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト（<https://www.mm-education.jp/>）での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

Ex) 公共交通機関を積極的に利用することで、クルマの利用に比べて、渋滞の解消や温室効果ガスの排出量を減らすことができます。

交通環境学習の 授業内容例

- ・ イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）への参加
- ・ バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・ 公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・ 環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・ 公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・ 交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・ フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・ ご回答は、「交通環境学習」の取組内容をご存じのご担当者様、または、公共交通計画等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。
（※本調査票は、過去にアンケートにご回答いただいた部署または公共交通計画等の関係部署あてにお送りしていますが、別に該当する部署がありましたら、回答が可能なご担当者様にご転送願います。）
- ・ なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■回収の期日

アンケートは、**11月15日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、アンケートページにて回答を入力できます
アンケートページ <https://mm-education.jp/survey.html>

B. FAX

記入後の調査票を FAX 03-5791-1143 まで返信

C. メール

交通環境学習ポータルサイトから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：田中、岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

■ 貴自治体での令和5年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和5年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含みます。

1. 実施した →副問 1.1～1.3 にご回答ください
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった
(過去の実施期間（年度）：) →P.3 副問 1.4 にご回答ください
3. これまで実施したことはない →P.3 副問 1.4 にご回答ください

副問 1.1 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」について、実施時期、実施主体、実施対象、実施内容等についてお答えください。

<記載例>

実施時期：10月
実施主体：バス事業者、市の交通政策課、学校
実施対象：小学校3年生
実施内容：バスの乗車体験

具体的に：

→副問 1.1 のあとは、副問 1.2 へ

副問 1.2 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を実施した理由は何ですか？（いくつでも）

1. 効果が期待できるから
2. 学校や他自治体（都道府県/市町村）、交通事業者等が主体となって実施しているから
3. 学校からの要請があるから
4. 自治体の方針や計画に位置づけられているから
5. その他（具体的に：)

→副問 1.2 のあとは、副問 1.3 へ

副問 1.3 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか？

具体的に：

→副問 1.3 のあとは、問 2 へ

副問 1.4 問 1 で「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

昨年度、「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分らない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に：

）

→副問 1.4 のあとは、問 2 へ

■ 今後の「交通環境学習」について

問 2 今年度（令和 6 年度）、「交通環境学習」に取組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1 つに○）

1. 取組む予定である（または、既に実施済み）
2. 予定はないが、機会があれば取組む
3. 取組まない
4. わからない

問 3 「交通環境学習」に取組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会や学校、交通事業者との調整が難しい

（誰とどんな調整が難しいか：

）

2. 担当部課の人手不足
3. 予算が足りない
4. 具体的な取組内容がわからない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. その他（具体的に：

）

問 4 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取組む場合に、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

■ 「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する意見交換会について

問5 エコモ財団では、「交通環境学習」に関する意見交換会の開催を検討しています。どのような内容に興味がありますか？（いくつでも）

1. 専門家による「交通環境学習」に関する講演
（講演の内容として希望すること： ）
2. 自治体や学校職員による実践事例の講演
3. 実践事例のポスターセッション
4. 実践校の授業見学
5. 参加者同士の対話
6. その他（具体的に： ）

問6 意見交換会を開催する場合、第1回目は東京での開催を検討しています。意見交換会に参加する場合は、オンラインまたは現地会場どちらでの参加を希望しますか？（1つに○）

1. オンライン
2. 現地会場
3. 東京での参加は難しいが、近場であれば現地で参加したい

■ 交通環境学習にかかわる支援制度について

問7 エコモ財団では、「交通環境学習」を普及するため、小中学生・高校生を対象にしたモビリティ・マネジメント教育に取り組む地方公共団体に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行っています。この支援制度を知っていますか？（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない

問8 エコモ財団の交通環境学習にかかわる支援制度を活用したいと思いますか？（1つに○）
※支援制度の詳細は、交通環境学習ポータルサイト（<https://www.mm-education.jp/>）よりご確認ください。

1. 活用したい
2. 活用したくない
（活用したくない理由： ）

最後にご回答者様についてご記入ください。

■ 貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名				担当部署		
氏 名				役 職		
TEL		FAX		e-mail		

- 交通環境学習メールマガジンの配信を希望されますか？

(過去の配信内容はこちら→https://mm-education.jp/mailmagazine.html#anchor_backnumber)

☐ 配信を希望する ☐ 配信を希望しない ☐ すでに登録している

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、**11月15日（金）**までに、
インターネット、メール、FAX のいずれかで返送願います。

交通環境学習ポータルサイトより、交通環境学習の実施方法や支援制度についてご覧いただけます。
(<https://www.mm-education.jp/>)

具体的な支援内容や過去の取組事例等に関するご相談は、

「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部」までお問い合わせください。

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い



公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の教育委員会での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<https://www.mm-education.jp/>) での公表を予定しています。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

Ex) 公共交通機関を積極的に利用することで、クルマの利用に比べて、渋滞の解消や温室効果ガスの排出量を減らすことができます。

交通環境学習の
授業内容例

- ・ イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）への参加
- ・ バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・ 公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・ 環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・ 公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・ 交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・ フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・ ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合はその内容をご存じのご担当者様、取組まれていない場合は学校教育等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。
- ・ なお、各自治体の公共交通関係部署にも同様のアンケートを別途実施しています。

■回収の期日

アンケートは、**11月15日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、アンケートページにて回答を入力できます
アンケートページ <https://mm-education.jp/survey.html>

B. FAX

記入後の調査票を FAX 03-5791-1143 まで返信

C. メール

交通環境学習ポータルサイトから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：田中、岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

■貴教育委員会での令和5年度の「交通環境学習」の実施状況について

問 1 貴教育委員会が所管する学校では、昨年度（令和5年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（近いもの1つに○）

1. 全学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている →副問 1.1へ
2. 一部の学校で、授業に取り入れている →副問 1.1へ
3. 昨年度は取り組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能 →問 2へ

※昨年度、総合的な学習の時間等で交通環境学習以外のテーマに取り組んだ場合は、
取り組みテーマを教えてください。

（テーマ： ）

4. 授業に取り入れることは難しい →問 2へ

副問 1.1 問 1で「1」「2」とお答えの方にお伺いします。

昨年度取り組まれた「交通環境学習」について、実施時期、実施主体、実施対象、実施内容等についてお答えください。

<記載例>

実施時期：10月

実施主体：バス事業者、市の交通政策課、学校

実施対象：小学校3年生

実施内容：バスの乗車体験

具体的に：

→副問 1.1 のあとは、問 2 へ

■今後の「交通環境学習」について

問 2 今年度（令和6年度）、貴教育委員会が所管する学校では、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

1. 取り組む予定である（または、既に実施済み）
2. 予定はないが、機会があれば取り組む
3. 取り組まない
4. わからない

→次のページにお進みください

■ 「交通環境学習」の普及・推進について

- 問3** 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む学校は、全国で少しずつ増えています。
また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。
貴教育委員会としては、「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか。

具体的に：

- 問4** 学校現場において、教員が「交通環境学習」を実施するためには、どのような普及方法が考えられますか。また、必要な支援等があれば教えてください。

具体的に：

- 問5** 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 自治体や交通事業者との調整が難しい
(誰とどんな調整が難しいか：)
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が足りない
4. 具体的な取組内容がわからない
5. 期待した効果が得られない
6. 適切な教材を準備することが難しい
7. 授業時間の確保が難しい
8. 教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない
9. その他（具体的に：)

最後にご回答者様についてご記入ください。

■ ご回答者について

- 本アンケートのご回答者をご記入ください。

※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

教育委員会名					
回答者の氏名			所属部署・役職		
TEL		FAX		e-mail	

- 交通環境学習メールマガジンの配信を希望されますか？

(過去の配信内容はこちら→https://mm-education.jp/mailmagazine.html#anchor_backnumber)

☐ 配信を希望する ☐ 配信を希望しない ☐ すでに登録している

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、**11月15日（金）**までに、
インターネット、メール、FAX のいずれかで返送願います。

交通環境学習ポータルサイトより、交通環境学習の実施方法や支援制度についてご覧いただけます。
(<https://www.mm-education.jp/>)

具体的な支援内容や過去の取組事例等に関するご相談は、
「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部」までお問い合わせください。
TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp